

芝山町立地適正化計画策定 住民意向調査結果

令和6年2月

- 目次 -

1. 住民意向調査の概要.....	1
(1)調査目的	1
(2)調査対象.....	1
(3)調査結果概要	1
(4)調査内容.....	1
(5)地区区分	3
2. 集計結果	4
(1)回答者属性	4
(2)居住意向について	7
(3)日常生活・行動について	11
日用品の買い物について	11
日用品以外の買い物について	15
利用されている主な医療施設について	19
(4)これからのまちの拠点のあり方について	23
(5)防災まちづくりについて	27
(6)現在お住まいになっている地区の状況について	35

1. 住民意向調査の概要

(1) 調査目的

立地適正化計画の策定根拠となる住民意向として、“地区ごとの生活圏や行動パターンなどの生活実態”をはじめ、立地適正化計画の大きな柱となる“住民が各拠点に求める都市機能”、防災指針の設定に資する“防災・減災に係る都市づくり意向”について把握する。

(2) 調査対象

町内全世帯 3,069 世帯(令和5年9月時点外国人含む)^{※1}

※1)各世帯に調査票を含めて回答用紙を4枚ずつ配布

(3) 調査結果概要

調査実施期間	令和5年(2023年)9月下旬から10月下旬までの概ね3週間程度
調査結果概要	・回収数:1,143票、回収率:16.7% ^{※2} ・回収世帯数:783件、世帯回収率:25.5%

※2)回収率は総人口:6,819人(令和5年11月現在)として算出

(4) 調査内容

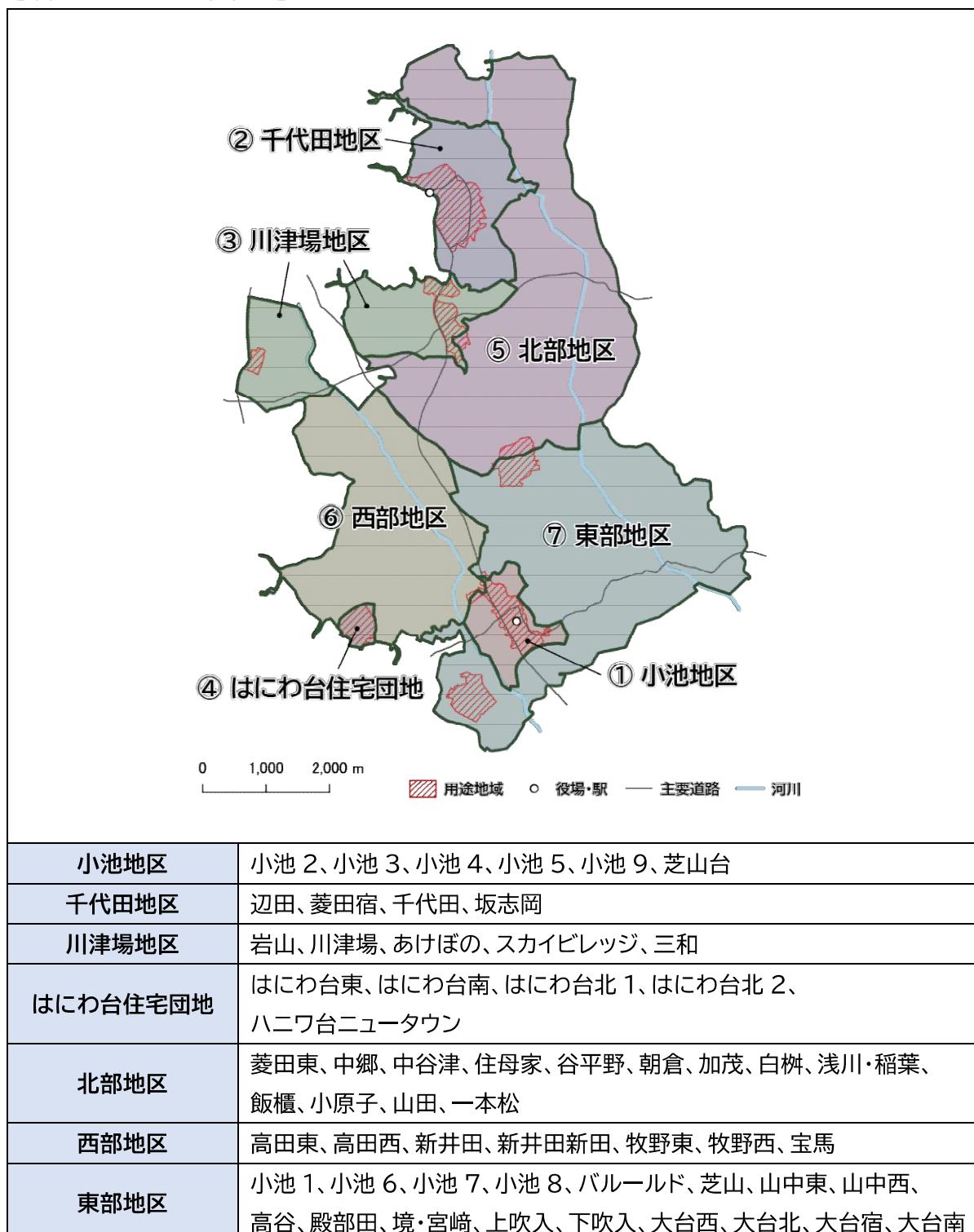
設問	設定意図及び分析・反映方法
1. 回答属性	○ 各設問に対する属性別のクロス分析を実施するため、「性別」、「年齢」、「職種」、「居住地区」、「家族構成」、「居住年数」、「勤務地・通学地」、「主な移動手段」について把握する。
2. 居住意向について	○ 町の住みよさと今後の居住意向、芝山町に将来にわたって住み続けるために必要な要素を把握する。 ○ 定住者の確保に向けて、芝山町が居住地として選ばれるために必要な要素を抽出し、立地適正化計画の中で反映・対応可能な要素を探る。
3. 日常の生活・行動について	○ 住民が日常生活の各場面(日用品・日用品以外の買い物、通院)でどのようなエリア・パターンで行動しているのかを、主な移動手段と合わせて把握する。 ○ 都市マス策定時からの意向の変化(5年経過)を確認する。

4. これからのまちの拠点に求める機能・役割について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 立地適正化計画において都市機能誘導区域の設定を想定している「千代田」、「小池」、「川津場」、「はにわ台住宅団地」の4地区を対象に、生活利便性を高めるために、今後どのような都市機能(施設)を誘導・充実していくべきか、地区別に把握する。
5. 防災まちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防災指針の設定に向けて、住民の防災まちづくりに対する意向を把握する。
(1) 現在のお住まいの地域の防災対策について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が住んでいる地域においてどういった防災・減災対策が重要だと認識しているかを把握する。 ○ 地区ごとに住民が特に懸念している災害種別を確認し、防災指針に反映する。
(2) 防災ハザードマップの認知状況について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町が公開している防災ハザードマップの認知状況、活用状況を把握する。
(3) 災害危険地域における住宅立地のあり方について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害の危険性が高い地域での住宅立地について、今後どのように対応すべきだと考えているか意向を新規・既存別に把握する。 ○ 居住誘導区域の指定基準を検討する際の根拠として活用・反映する。
6. お住まいの地区の状況について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自治会・行政区を単位とした生活環境の状況・意向を把握する。 ○ 都市マス策定時からの意向の変化(5年経過)を確認する。
(1) 地区の生活環境の満足度・充実希望度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 拠点・地域別に各種施策の満足度・充実希望度を把握する。 ○ 満足度・充実希望度のクロス分析から、拠点・地域ごとの緊急性・優先度の高い施策を抽出し、各拠点のターゲットやストーリーの設定に反映する。
(2) 地区周辺に特に必要な施設・機能	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区周辺で不足している主な都市機能を抽出する。
(3) 地区のまちづくりの中で、特に力を入れて取り組むべき方策	<ul style="list-style-type: none"> ○ これからの拠点・地域ごとの住民が求めるまちづくりテーマを把握する。
7. 自由回答	<ul style="list-style-type: none"> ○ 芝山町が将来にわたって暮らしやすく、魅力的なまちとなっていくために必要だと思う方策やアイデアを募集する。

(5)地区区分

本調査では、必要機能等に係る地区ごとの意向を的確に把握するため、本町の行政区に基づき、町域を「小池地区」、「千代田地区」、「川津場地区」、「はにわ台住宅団地」、「北部地区」、「西部地区」、「東部地区」の7地区に区分する。

[本調査における地区区分]



2. 集計結果

(1)回答者属性

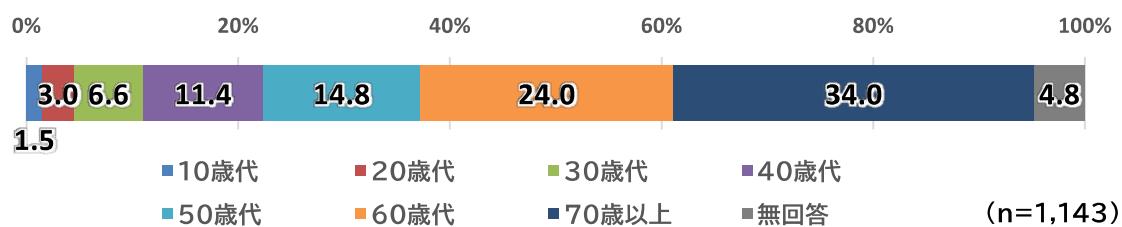
問1(ア) 性別 【1つだけ選択】

「男性」の割合が 53.3%、「女性」が 40.6%、「回答しない」が 1.2%となっている。



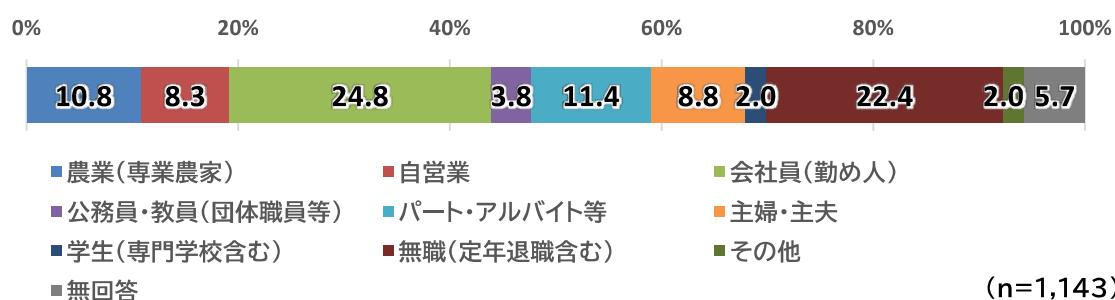
問1(イ) 年齢 【1つだけ選択】

「70歳以上」の割合が 34.0%と最も多く、次いで「60歳代」が 24.0%、「50歳代」が 14.8%、「40歳代」が 11.4%となっている。



問1(ウ) 職種 【1つだけ選択】

「会社員(勤め人)」の割合が 24.8%と最も多く、次いで「無職(定年退職含む)」が 22.4%、「パート・アルバイト等」が 11.4%、「農業(専業農家)」が 10.8%となっている。

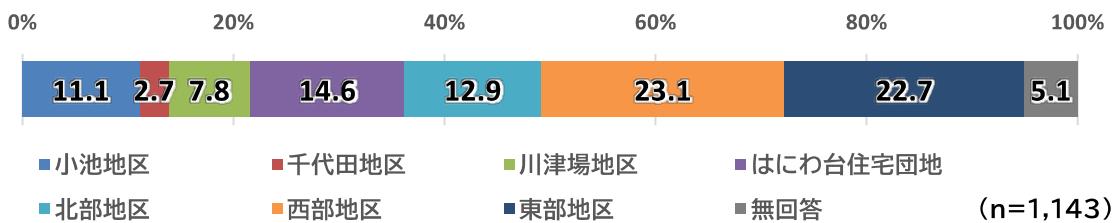


[他の回答内容]

兼業農家(5名)、シルバー人材、宗教法人、会社経営、建設業 など

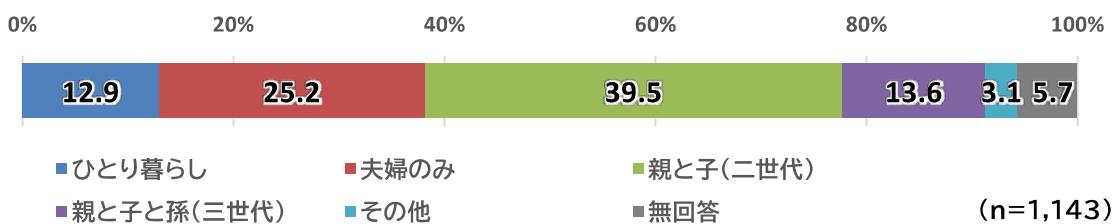
問1(工) お住まいの地区 【1つだけ選択】

「西部地区」の割合が 23.1%と最も多く、次いで「東部地区」が 22.7%、「はにわ台住宅団地」が 14.6%、「北部地区」が 12.9%となっている。



問1(才) 家族構成 【1つだけ選択】

「親と子(二世代)」の割合が 39.5%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が 25.2%、「親と子と孫(三世代)」が 13.6%、「ひとり暮らし」が 12.9%となっている。

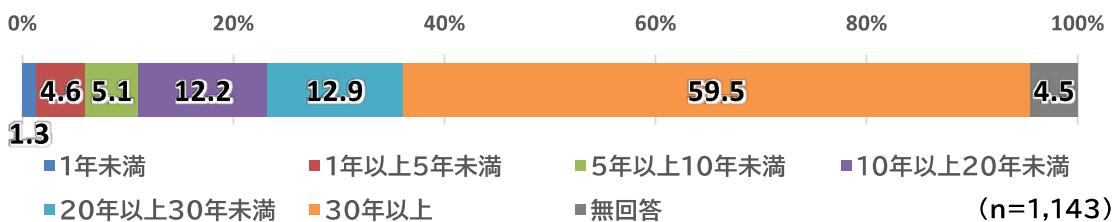


[その他の回答内容]

兄弟姉妹と同居、ルームシェア、四世代、施設入所 など

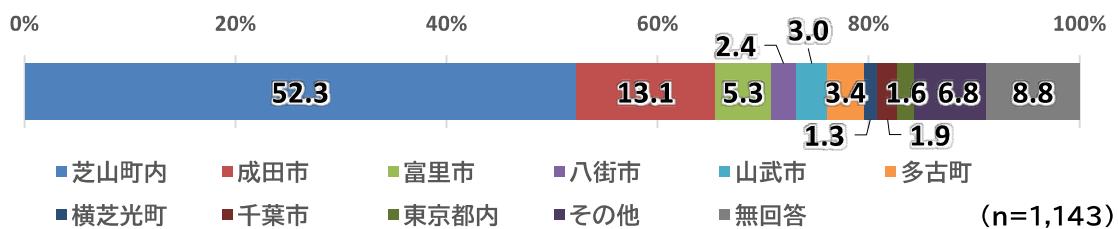
問1(力) 町内の在住期間 【1つだけ選択】

「30年以上」の割合が 59.5%と最も多く、次いで「20年以上30年未満」が 12.9%、「10年以上20年未満」が 12.2%、「5年以上10年未満」が 5.1%となっている。



問1(キ) 勤務地・通学地や日常的な活動の場【1つだけ選択】

「芝山町内」の割合が 52.3%と最も多く、次いで「成田市」が 13.1%、「その他」が 6.8%、「富里市」が 5.3%となっている。

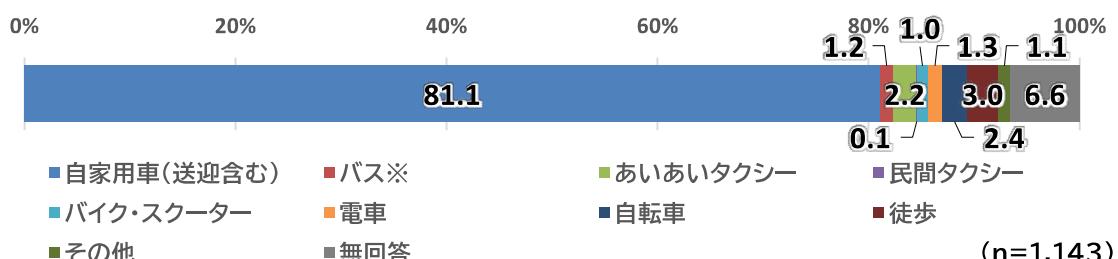


[他の回答内容]

佐倉市、酒々井町、匝瑳市、習志野市、旭市、香取市、八千代市、印西市、東金市 など

問1(ク) 勤務地・通学地や日常的な活動の場までの主な移動手段【1つだけ選択】

「自家用車(送迎含む)」の割合が 81.1%と最も多く、次いで「徒歩」が 3.0%、「自転車」が 2.4%、「あいあいタクシー」が 2.2%となっている。



※「バス」…シャトルバス、ふれあいバス等

[他の回答内容]

自家用車+電車、高速バス など

(2)居住意向について

問2 芝山町はあなたにとって住みよいまちですか。【1つだけ選択】

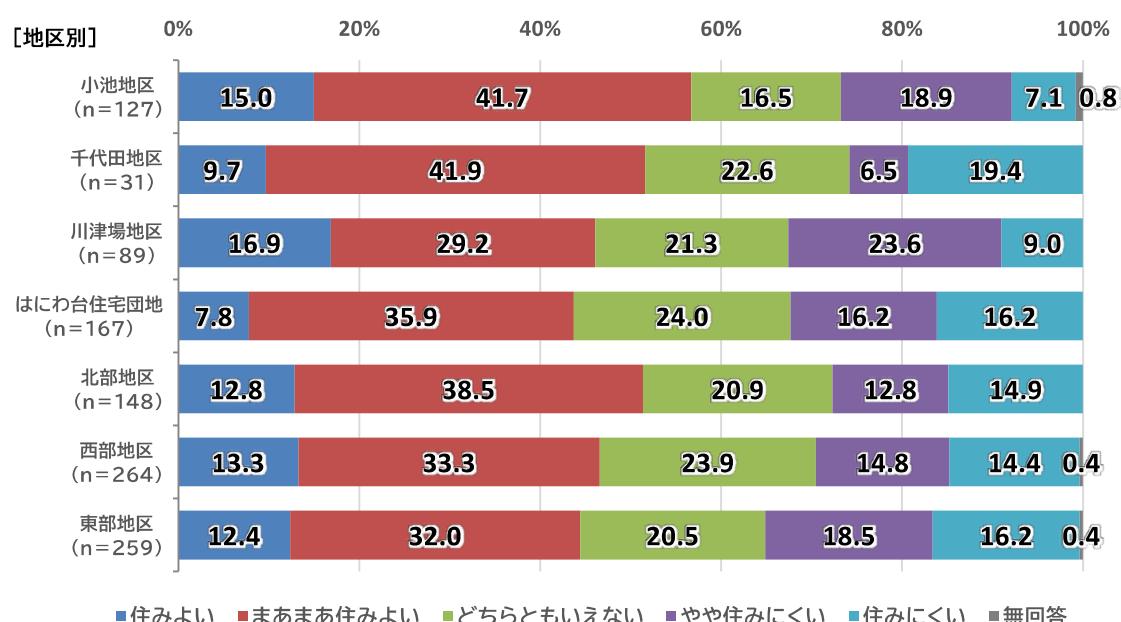
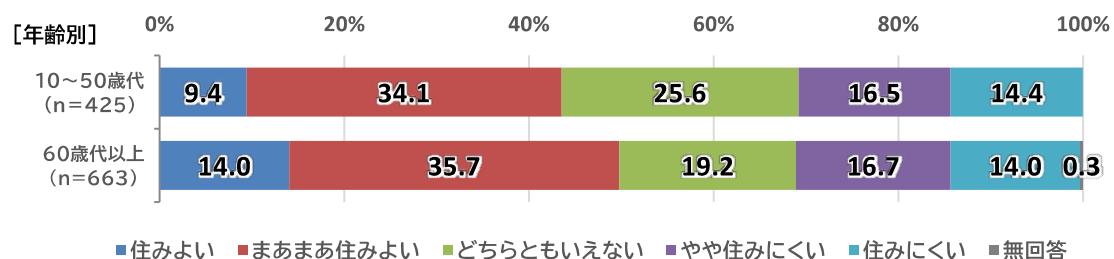
「まあまあ住みよい」の割合が 33.6%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が 20.7%、「やや住みにくい」が 15.8%、「住みにくい」が 13.6%となっている。



[属性別のクロス集計]

年齢別にみると、10~50歳代と比べて60歳代以上の方が「住みよい」、「まあまあ住みよい」の割合が高くなっている。

地区別にみると、川津場地区で「住みよい」の割合が最も高く、小池地区や北部地区においても「住みよい」、「まあまあ住みよい」の割合が比較的高くなっている。一方で、はにわ台住宅団地では、「住みよい」の割合が最も低くなっている。



問3 今後も芝山町に住み続けたいですか。【1つだけ選択】

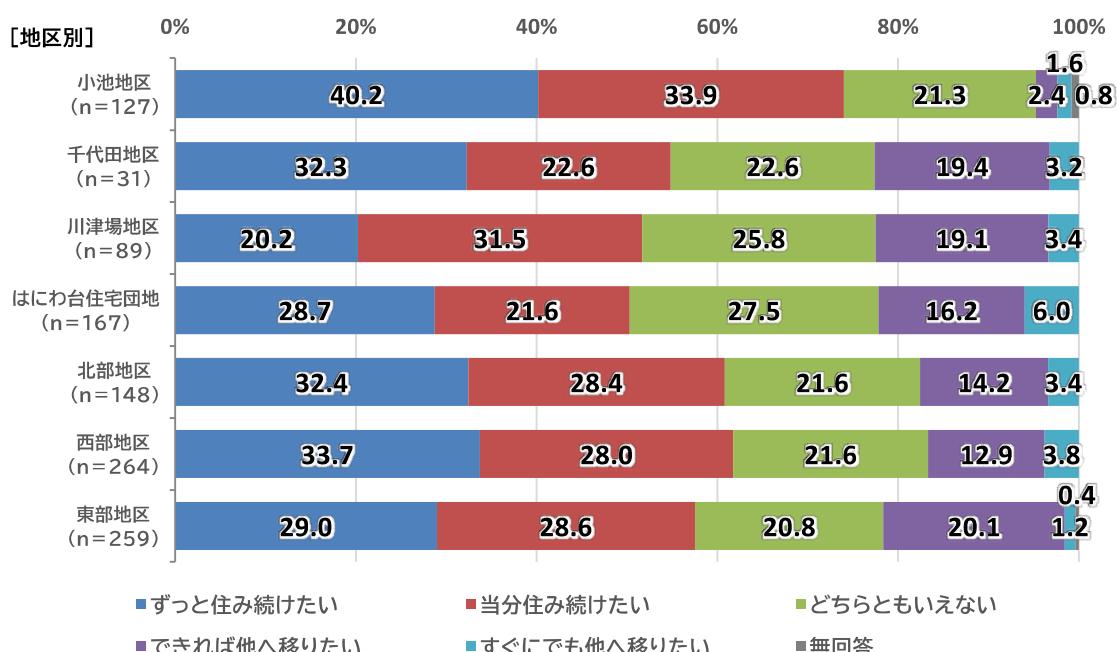
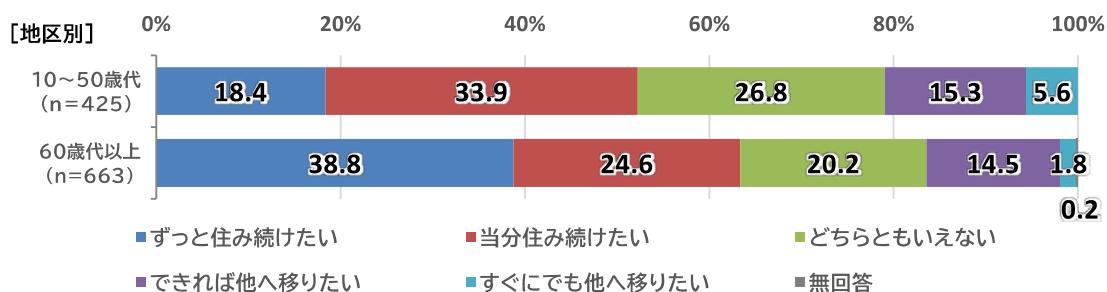
「ずっと住み続けたい」の割合が 29.9%と最も多く、次いで「当分住み続けたい」が 26.9%、「どちらともいえない」が 21.8%、「できれば他へ移りたい」が 14.3%となっている。



[属性別のクロス集計]

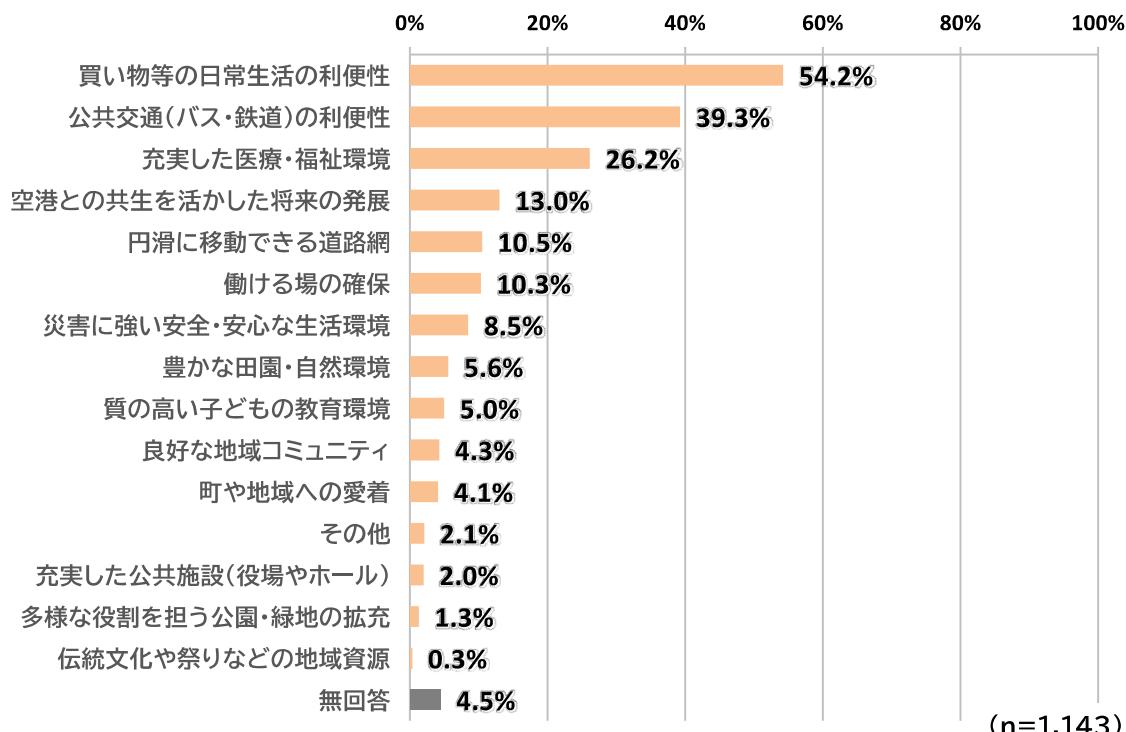
年齢別にみると、10～50歳代と比べて60歳代以上の方が「ずっと住み続けたい」の割合が高くなっている一方で、「当分住み続けたい」の割合は低くなっている。

地区別にみると、川津場地区で「ずっと住み続けたい」の割合が最も高く、北部地区や西部地区においても「ずっと住み続けたい」、「当分住み続けたい」の割合が比較的高くなっている。一方で、川津場地区では、「ずっと住み続けたい」の割合が最も低くなっている。



問4 あなたがこれからも芝山町に住み続けていくために、特に必要だと思うものは何ですか。【2つまで選択】

「買い物等の日常生活の利便性」の割合が 54.2%と最も多く、次いで「公共交通(バス・鉄道)の利便性」が 39.3%、「充実した医療・福祉環境」が 26.2%、「空港との共生を活かした将来の発展」が 13.0%となっている。



[その他の回答内容]

上下水道の整備、飲食店、娯楽施設、農業振興、平静な居住環境 など

[属性別のクロス集計]

年齢別にみると、10～50歳代、60歳代以上ともに「買い物等の日常生活の利便性」の割合が最も高く、次いで「公共交通(バス・鉄道)の利便性」、「充実した医療・福祉環境」となっている。

地区別にみると、川津場地区では、「公共交通(バス・鉄道)の利便性」の割合が最も高くなっている。はにわ台住宅団地では、「公共交通(バス・鉄道)の利便性」は2番目に多い回答であるものの、その割合は60%以上と他地区と比べて最も高い。

また、北部地区では、「充実した医療・福祉環境」が2番目に多くなっている。

年齢別	働ける場の確保	町や地域への愛着	空港との共生を活かした将来的な発展	良好な地域コミュニティ	買い物等の日常生活の利便性	公共交通(バス・鉄道)の利便性	円滑に移動できる道路網	質の高い子どもの教育環境	充実した医療・福祉環境	災害に強い安全・安心な生活環境	多様な役割を担う公園・緑地の拡充	豊かな田園・自然環境	伝統文化や祭りなどの地域資源	その他	無回答	
10～50歳代 (n=425)	14.8%	3.3%	12.0%	3.5%	61.2%	44.2%	8.9%	8.2%	22.1%	2.4%	8.9%	0.9%	2.4%	0.2%	2.1%	0.7%
60歳代以上 (n=663)	8.3%	5.0%	13.9%	5.1%	54.1%	38.9%	11.5%	3.3%	30.6%	2.0%	8.9%	1.7%	8.0%	0.5%	2.3%	0.5%

地区別	働ける場の確保	町や地域への愛着	空港との共生を活かした将来的な発展	良好な地域コミュニティ	買い物等の日常生活の利便性	公共交通(バス・鉄道)の利便性	円滑に移動できる道路網	質の高い子どもの教育環境	充実した医療・福祉環境	災害に強い安全・安心な生活環境	多様な役割を担う公園・緑地の拡充	豊かな田園・自然環境	伝統文化や祭りなどの地域資源	その他	無回答	
小池地区 (n=127)	11.0%	3.9%	22.0%	3.1%	47.2%	40.9%	14.2%	6.3%	24.4%	1.6%	9.4%	1.6%	4.7%	0.0%	0.8%	0.8%
千代田地区 (n=31)	3.2%	3.2%	19.4%	0.0%	54.8%	38.7%	0.0%	0.0%	35.5%	0.0%	22.6%	0.0%	9.7%	0.0%	3.2%	0.0%
川津場地区 (n=89)	15.7%	5.6%	16.9%	4.5%	38.2%	47.2%	10.1%	6.7%	29.2%	4.5%	12.4%	1.1%	2.2%	1.1%	2.2%	0.0%
はにわ台住宅団地 (n=167)	5.4%	0.6%	3.0%	1.2%	61.7%	60.5%	9.6%	2.4%	29.9%	2.4%	4.8%	1.8%	3.6%	0.6%	3.6%	1.2%
北部地区 (n=148)	9.5%	4.7%	19.6%	5.4%	50.0%	28.4%	12.8%	6.1%	32.4%	2.7%	9.5%	2.7%	10.1%	0.0%	0.7%	0.7%
西部地区 (n=264)	12.5%	6.8%	12.5%	4.9%	58.3%	39.4%	12.9%	5.3%	20.8%	2.3%	12.1%	0.8%	5.3%	0.8%	2.3%	0.4%
東部地区 (n=259)	12.7%	3.5%	12.0%	6.2%	65.6%	35.1%	9.3%	6.2%	27.4%	1.2%	5.0%	1.2%	6.6%	0.0%	2.3%	0.8%

■ 最もも多い回答 ■ 2番目に多い回答 ■ 3番目に多い回答 ※「その他」と「無回答」を除く

(3)日常生活・行動について

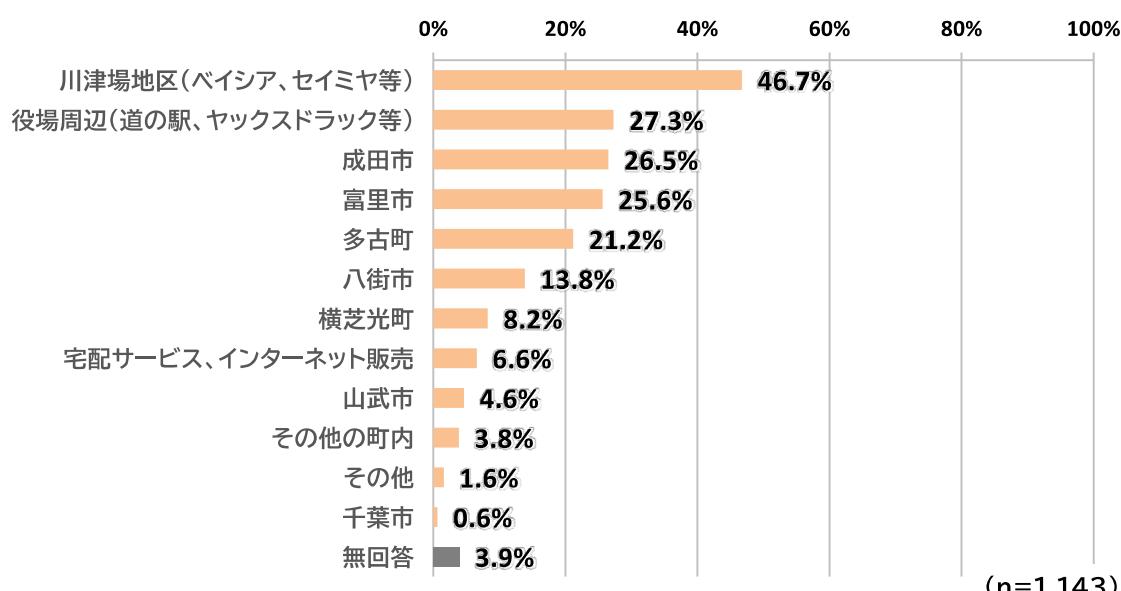
日用品の買い物について

問5 生鮮食料品や日用雑貨品などの日用品について、主にどこで買い物をされていますか。【2つまで選択】

「川津場地区(ベイシア、セイミヤ等)」の割合が 46.7%と最も多く、次いで「役場周辺(道の駅、ヤックスドラック等)」が 27.3%、「成田市」が 26.5%、「富里市」が 25.6%となっている。

また、都市マス策定時の調査※では、「成田市」が 43.6%、「多古町」が 28.3%、「富里市」が 27.9%となっており、5年経過で「成田市」をはじめとする町外の割合が減少している。

※「芝山町の新たなまちづくりに向けた住民意向調査」平成30年10月～11月実施



[その他の回答内容]

岩山(セイミヤ等)、印西市/千葉ニュータウン、匝瑳市/八日市場、知人に依頼 など

[属性別のクロス集計]

年齢別にみると、10～50歳代、60歳代以上ともに「川津場地区(ベイシア、セイミヤ等)」の割合が最も高くなっている。一方で、10～50歳代では、次いで「成田市」と「富里市」、60歳代以上では次いで「役場周辺(道の駅、ヤックスドラック等)」となっており、2番目以下の傾向が異なっている。

地区別にみると、川津場地区、はにわ台住宅団地、西部地区では「川津場地区(ベイシア、セイミヤ等)」の割合が最も高くなっているものの、小池地区では「役場周辺(道の駅、ヤックスドラック等)」、千代田地区では「成田市」、北部地区と東部地区では「多古町」の割合が最も高く、傾向が異なっている。

年齢別	役場周辺 (道の駅、 ヤックスド ラック等)	川津場地区 (ベイシア、 セイミヤ等)	その他の町 内	成田市	富里市	八街市	山武市	多古町	横芝光町	千葉市	宅配サービ ス、интер ネット販売	その他	無回答
10～50歳代 (n=425)	20.5%	44.2%	2.6%	36.9%	32.9%	17.6%	4.7%	16.7%	8.0%	0.9%	8.9%	1.2%	0.2%
60歳代以上 (n=663)	33.5%	51.7%	4.8%	21.9%	22.0%	12.5%	4.8%	25.5%	8.3%	0.5%	5.4%	2.0%	0.3%

地区別	役場周辺 (道の駅、 ヤックスド ラック等)	川津場地区 (ベイシア、 セイミヤ等)	その他の町 内	成田市	富里市	八街市	山武市	多古町	横芝光町	千葉市	宅配サービ ス、интер ネット販売	その他	無回答
小池地区 (n=127)	42.5%	33.1%	3.1%	18.1%	26.0%	14.2%	12.6%	17.3%	16.5%	0.0%	8.7%	0.0%	0.8%
千代田地区 (n=31)	9.7%	45.2%	0.0%	74.2%	16.1%	0.0%	0.0%	35.5%	3.2%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%
川津場地区 (n=89)	10.1%	85.4%	1.1%	40.4%	33.7%	2.2%	1.1%	2.2%	1.1%	1.1%	10.1%	2.2%	1.1%
はにわ台住宅団地 (n=167)	34.7%	51.5%	3.6%	26.9%	30.5%	31.7%	2.4%	1.2%	3.0%	0.6%	6.0%	1.2%	0.0%
北部地区 (n=148)	11.5%	48.0%	4.7%	38.5%	21.6%	0.7%	2.0%	58.8%	0.0%	0.0%	4.7%	1.4%	0.7%
西部地区 (n=264)	27.7%	59.1%	6.4%	25.0%	35.6%	25.8%	5.3%	2.3%	3.0%	0.4%	4.5%	1.9%	0.0%
東部地区 (n=259)	36.3%	31.7%	3.1%	19.7%	16.6%	5.0%	5.4%	41.7%	22.0%	0.8%	8.9%	2.7%	0.4%

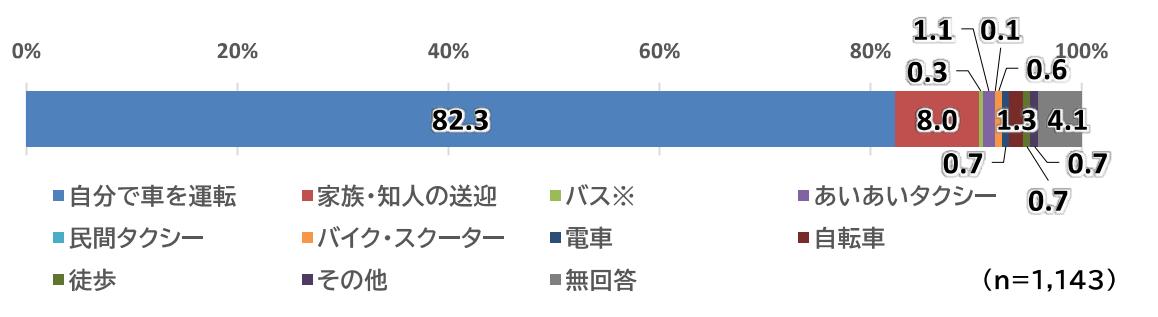
■ 最も多い回答 ■ 2番目に多い回答 ■ 3番目に多い回答 ※「その他」と「無回答」を除く

問6 日用品の買い物の際、主に利用する交通手段は何ですか。【1つだけ選択】

「自分で車を運転」の割合が 82.3%と最も多く、次いで「家族・知人の送迎」が 8.0%、「自転車」が 1.3%、「あいあいタクシー」が 1.1%となっている。

また、都市マス策定時の調査※では、「自分で車を運転」が 75.1%、「家族・知人の送迎」が 18.3%となっており、5年経過で「自分で車を運転」の割合が増加している。

※「芝山町の新たなまちづくりに向けた住民意向調査」平成30年10月～11月実施



※「バス」…シャトルバス、ふれあいバス等

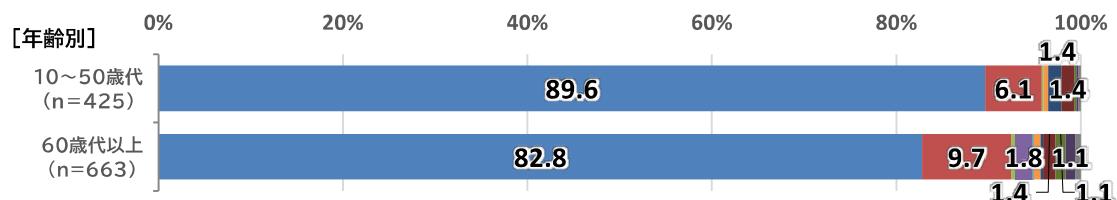
[その他の回答内容]

ヘルパー、会社のサービス など

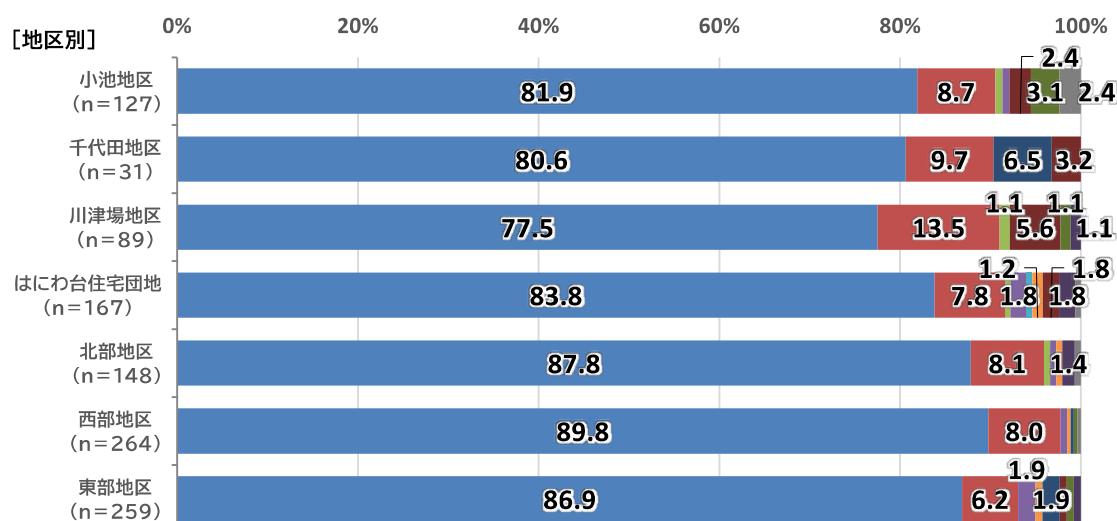
[属性別のクロス集計]

年齢別にみると、60歳代以上においても「自分で車を運転」の割合が 80%以上と最も高くなっている。一方で、60歳代以上では、「家族・知人の送迎」や「あいあいタクシー」、「自転車」などの利用もみられる。

地区別にみると、川津場地区のみ「自分で車を運転」の割合が 80%未満であり、「家族・知人の送迎」や「自転車」の割合が他地区と比べ高くなっている。



■自分で車を運転 ■家族・知人の送迎 ■バス※ ■あいあいタクシー
 ■民間タクシー ■バイク・スクーター ■電車 ■自転車
 ■徒歩 ■その他 ■無回答



■自分で車を運転 ■家族・知人の送迎 ■バス※ ■あいあいタクシー
 ■民間タクシー ■バイク・スクーター ■電車 ■自転車
 ■徒歩 ■その他 ■無回答

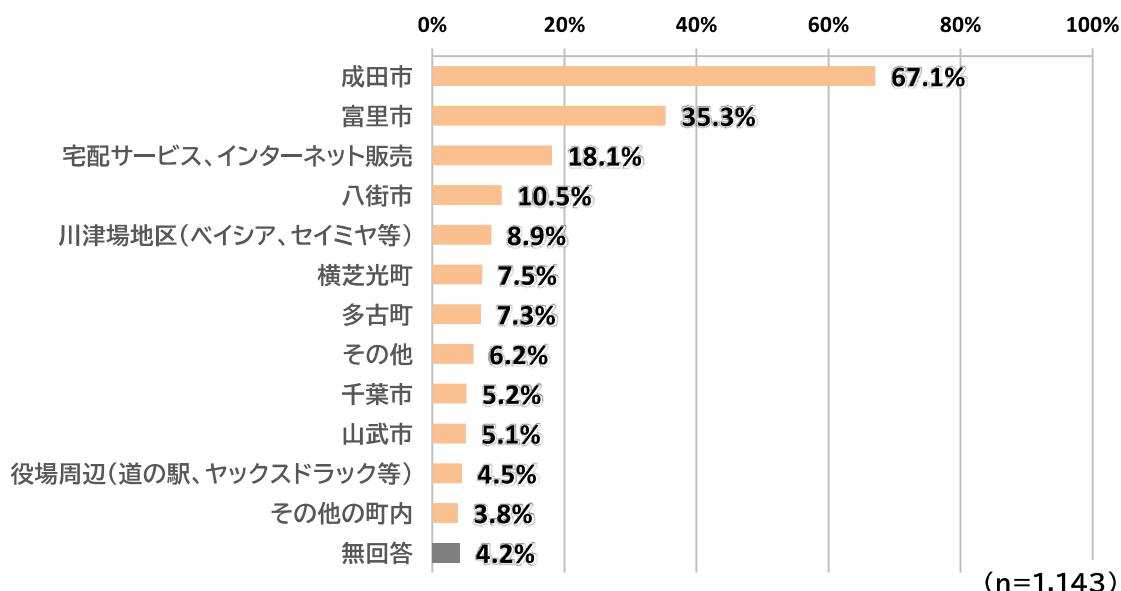
日用品以外の買い物について

問7 日用品以外(洋服、家具、電化製品など)について、主にどこで買い物をされていますか。【2つまで選択】

「成田市」の割合が 67.1%と最も多く、次いで「富里市」が 35.3%、「宅配サービス、インターネット販売」が 18.1%、「八街市」が 10.5%となっている。

また、都市マス策定時の調査※では、「成田市」が 76.4%、「富里市」が 35.6%、「宅配サービス、インターネット販売」が 18.9%となっており、5年経過で「成田市」の割合は減少しているものの、概ね同様の傾向である。

※「芝山町の新たなまちづくりに向けた住民意向調査」平成30年10月～11月実施



[他の回答内容]

東京都内、匝瑳市/八日市場、印西市/千葉ニュータウン、酒々井町、東金市 など

[属性別のクロス集計]

年齢別にみると、10～50歳代、60歳代以上ともに「成田市」の割合が最も高く、次いで「富里市」となっている。一方で、10～50歳代では、3番目に「宅配サービス、インターネット販売」、60歳代以上では3番目に「川津場地区(ベイシア、セイミヤ等)」となっており、3番目以下の傾向が異なっている。

地区別にみると、全ての地区で「成田市」の割合が最も高く、次いで「富里市」となっているが、小池地区などの拠点地区周辺では「宅配サービス、インターネット販売」の割合も比較的高くなっている。また、その他の地区では「多古町」や「八街市」、「横芝光町」の利用もみられる。

年齢別	役場周辺 (道の駅、 ヤックストラック等)	川津場地区 (ベイシア、 セイミヤ等)	その他の町内	成田市	富里市	八街市	山武市	多古町	横芝光町	千葉市	宅配サービ ス、インターネ ット販売	その他	無回答
10～50歳代 (n=425)	1.6%	4.2%	4.5%	76.9%	36.7%	8.7%	5.4%	1.4%	4.7%	6.1%	29.4%	8.9%	0.2%
60歳代以上 (n=663)	6.6%	12.7%	3.8%	64.9%	37.4%	12.5%	4.4%	11.5%	10.0%	4.8%	11.8%	5.0%	0.8%

地区別	役場周辺 (道の駅、 ヤックストラック等)	川津場地区 (ベイシア、 セイミヤ等)	その他の町内	成田市	富里市	八街市	山武市	多古町	横芝光町	千葉市	宅配サービ ス、インターネ ット販売	その他	無回答
小池地区 (n=127)	8.7%	9.4%	5.5%	59.1%	24.4%	9.4%	15.0%	4.7%	7.1%	7.1%	19.7%	7.9%	2.4%
千代田地区 (n=31)	0.0%	16.1%	0.0%	96.8%	22.6%	0.0%	0.0%	12.9%	0.0%	6.5%	22.6%	0.0%	0.0%
川津場地区 (n=89)	2.2%	14.6%	2.2%	71.9%	55.1%	4.5%	1.1%	2.2%	0.0%	3.4%	22.5%	5.6%	0.0%
はにわ台住宅団地 (n=167)	6.6%	8.4%	0.6%	68.9%	35.9%	24.6%	4.8%	1.2%	1.2%	4.2%	25.7%	5.4%	0.6%
北部地区 (n=148)	1.4%	5.4%	6.8%	80.4%	40.5%	2.7%	0.7%	19.6%	0.0%	4.1%	17.6%	7.4%	0.0%
西部地区 (n=264)	4.2%	10.6%	3.4%	69.7%	48.5%	16.3%	4.5%	2.7%	5.7%	5.7%	13.6%	4.9%	0.4%
東部地区 (n=259)	5.0%	8.1%	5.0%	64.5%	25.5%	5.4%	5.8%	12.4%	23.2%	5.4%	18.1%	8.9%	0.8%

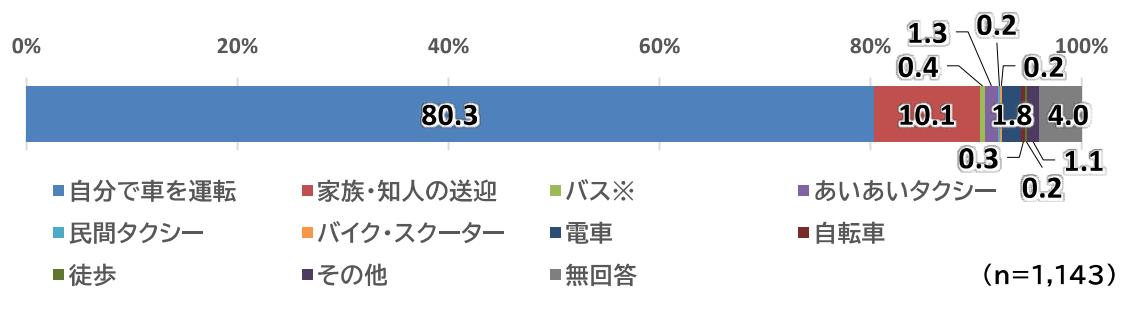
■ 最も多い回答 ■ 2番目に多い回答 ■ 3番目に多い回答 ※「その他」と「無回答」を除く

問8 日用品以外の買い物の際、主に利用する交通手段は何ですか。【1つだけ選択】

「自分で車を運転」の割合が 80.3%と最も多く、次いで「家族・知人の送迎」が 10.1%、「電車」が 1.8%、「あいあいタクシー」が 1.3%となっている。

また、都市マス策定時の調査※では、「自分で車を運転」が 73.5%、「家族・知人の送迎」が 20.0%となっており、5年経過で「家族・知人の送迎」の割合が増加している。

※「芝山町の新たなまちづくりに向けた住民意向調査」平成30年10月～11月実施



※「バス」…シャトルバス、ふれあいバス等

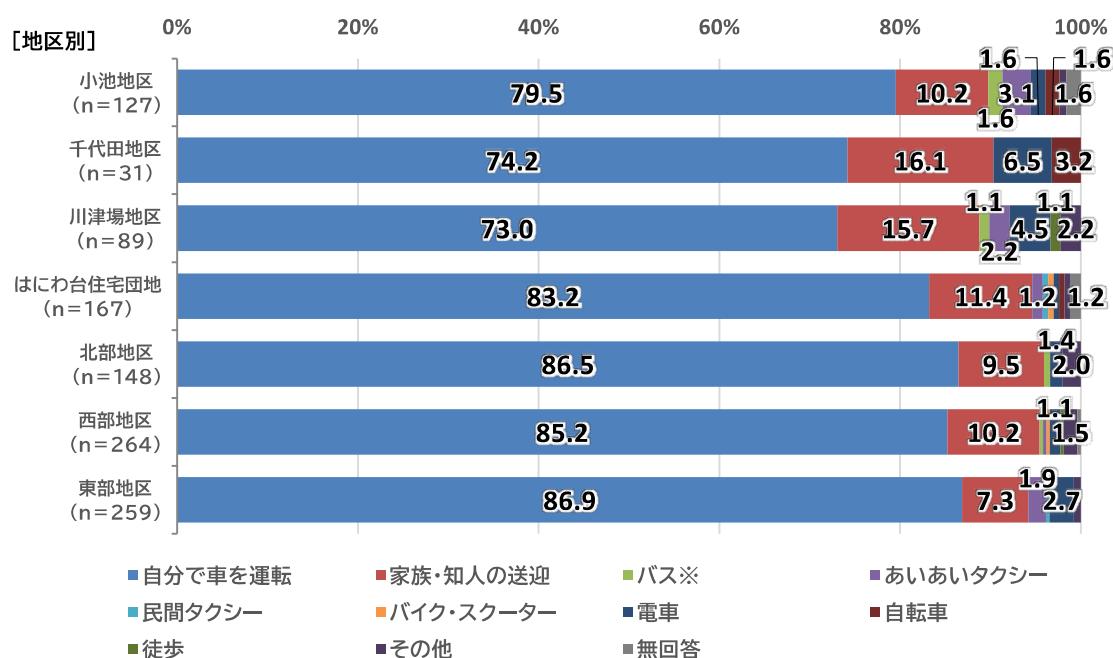
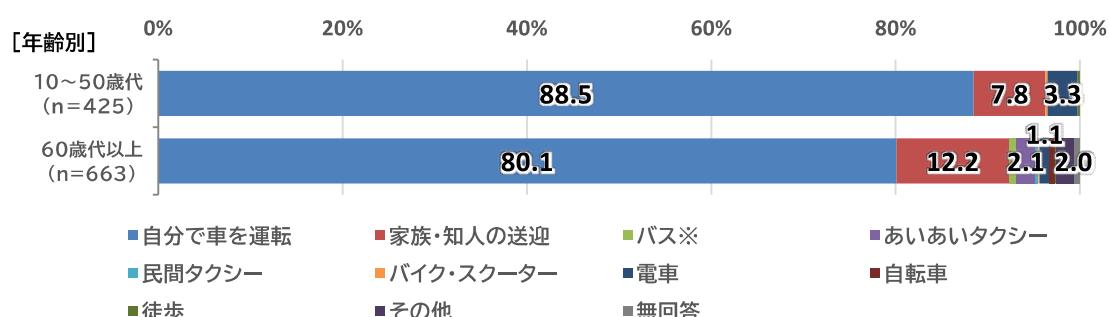
[その他の回答内容]

ヘルパー、高速バス など

[属性別のクロス集計]

年齢別にみると、60歳代以上においても「自分で車を運転」の割合が 80%以上と最も高くなっている。一方で、60歳代以上では、「家族・知人の送迎」や「あいあいタクシー」、「自転車」などの利用もみられる。

地区別にみると、小池地区や千代田地区、川津場地区では「自分で車を運転」の割合が 80%未満であり、「家族・知人の送迎」の割合が他地区と比べ高くなっている。



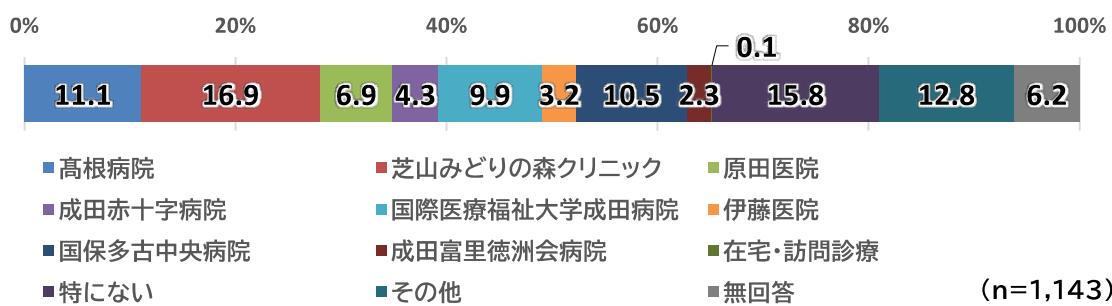
利用されている主な医療施設について

問9 かかりつけの医療施設はどこですか。【1つだけ選択】

「芝山みどりの森クリニック」の割合が 16.9%と最も多く、次いで「特にない」が 15.8%、「その他」が 12.8%、「高根病院」が 11.1%となっている。

また、都市マス策定時の調査※では、「芝山みどりの森クリニック」が 19.8%、「特になし」が 16.5%、「その他」が 20.4%、「高根病院」が 10.2%となっており、5年前と概ね同様の傾向である。

※「芝山町の新たなまちづくりに向けた住民意向調査」平成30年10月～11月実施



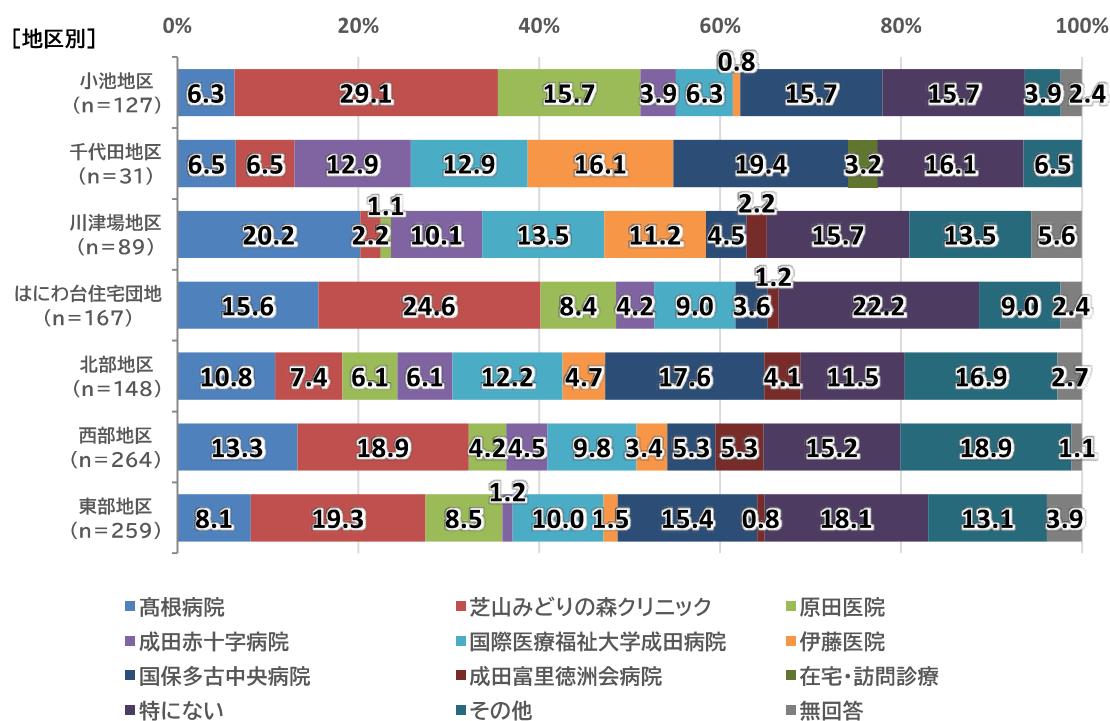
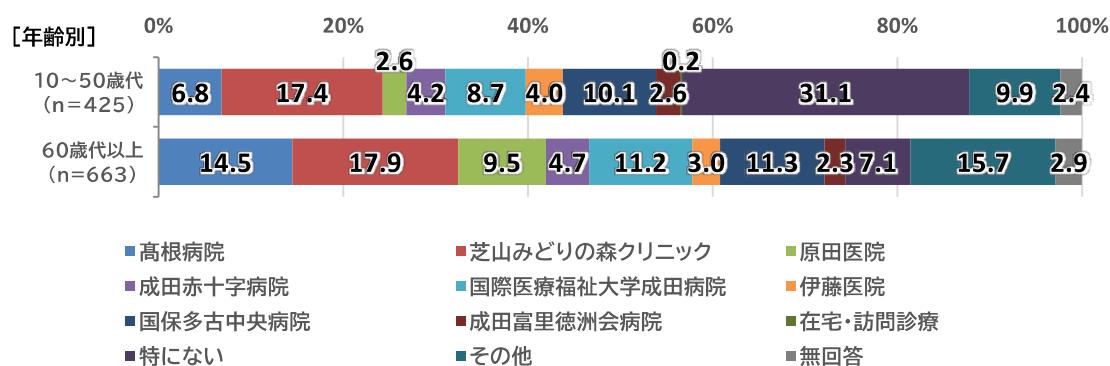
[他の回答内容]

中原医院(富里市)、新八街総合病院(八街市)、国保旭中央病院(旭市)、
龍岡クリニック(富里市)、まさごクリニック(横芝光町) など

[属性別のクロス集計]

年齢別にみると、10歳代～50歳代では、31.1%の「特ない」を除き、「芝山みどりの森クリニック」と「国保多古中央病院」が10%以上となっている。60歳代以上では、17.9%の「芝山みどりの森クリニック」に次いで、「高根病院」、「国際医療福祉大学成田病院」、「国保多古中央病院」、「その他」が10%以上となっている。

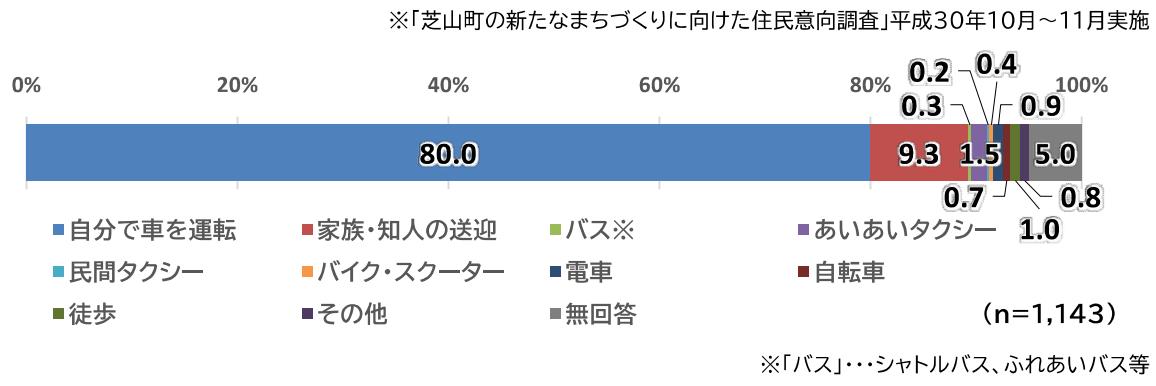
地区別にみると、小池地区、はにわ台住宅団地、西部地区、東部地区では「芝山みどりの森クリニック」の割合が最も高くなっている。特に小池地区では約30%を占める。一方で、千代田地区と北部地区では「国保多古中央病院」、川津場地区では「高根病院」の割合が最も高くなっている。



問10 医療施設へ向かう際、主に利用する交通手段は何ですか。【1つだけ選択】

「自分で車を運転」の割合が 80.0%と最も多く、次いで「家族・知人の送迎」が 9.3%、「あいあいタクシー」が 1.5%、「徒歩」が 1.0%となっている。

また、都市マス策定時の調査※では、「自分で車を運転」が 72.0%、「家族・知人の送迎」が 21.2%となっており、5年経過で「家族・知人の送迎」の割合は減少し、「自分で車を運転」の割合は増加している。



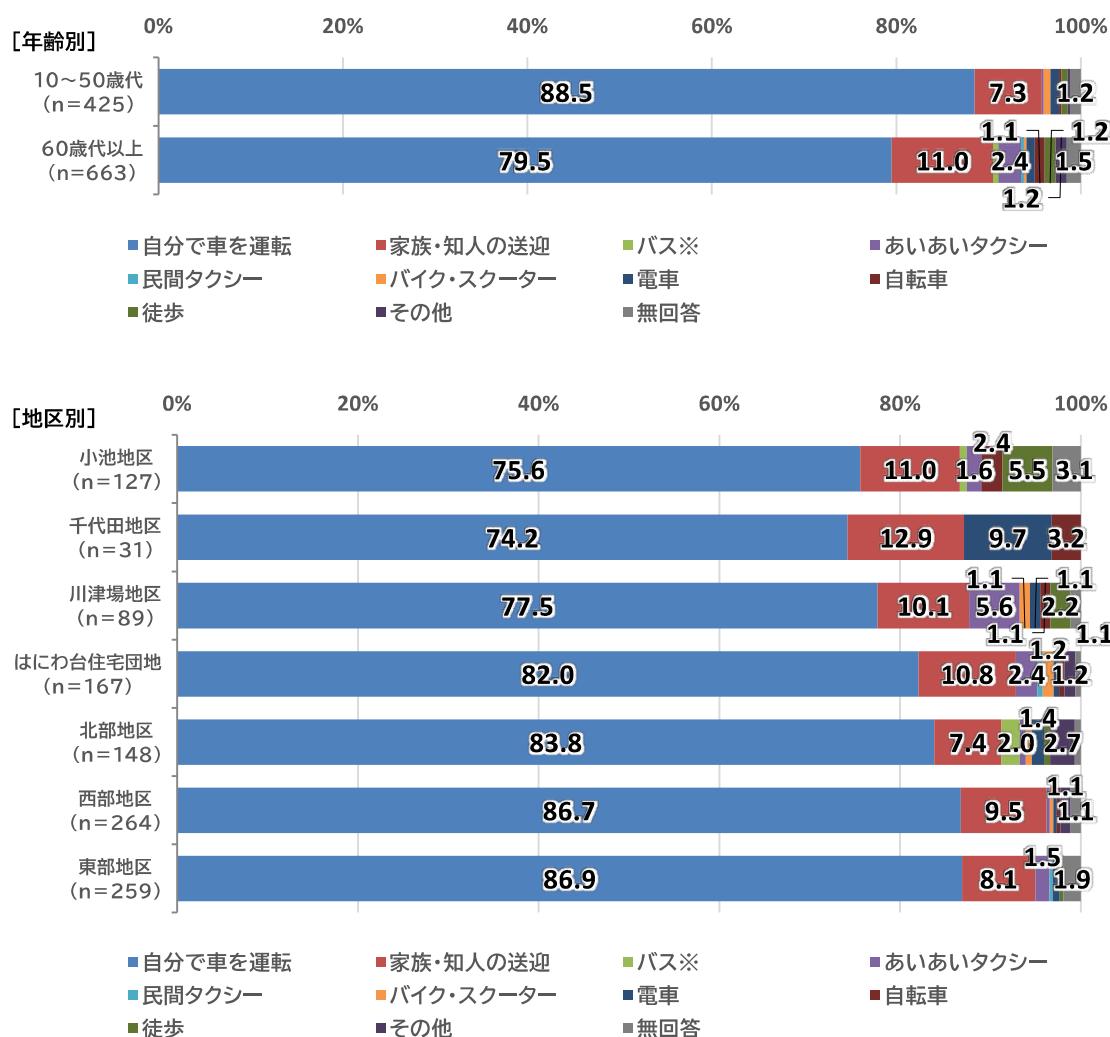
[その他の回答内容]

医療施設の送迎バス、ヘルパー、会社のサービス など

[属性別のクロス集計]

年齢別にみると、10歳代～50歳代では「自分で車を運転」の割合が 88.5%と9割近くになっている。一方で、60歳代以上では、「家族・知人の送迎」や「あいあいタクシー」、「自転車」などの利用もみられる。

地区別にみると、小池地区や千代田地区、川津場地区では「自分で車を運転」の割合が 80%未満であり、「家族・知人の送迎」の割合が他地区と比べ高くなっている。また、小池地区では「徒歩」、千代田地区では「電車」、川津場地区では「あいあいタクシー」の割合についても他地区と比べ高くなっている。

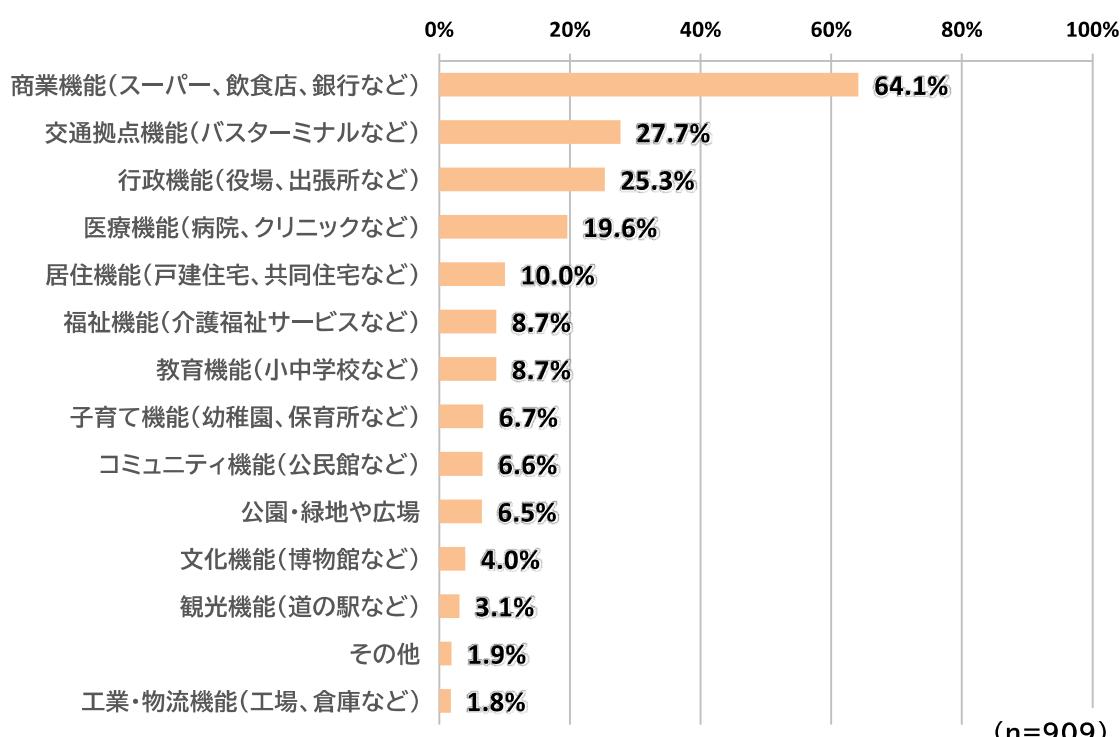


(4)これからのまちの拠点のあり方について

問11 芝山町が将来にわたって住み続けられる、生活利便性の高い活力あふれる都市へと発展していくためには、それぞれの拠点にどういった都市機能（施設）を整備・誘導していくべきだと思いますか。【拠点ごとに2つまで選択】

① 小池地区(町役場周辺の市街地)*

「商業機能(スーパー、飲食店、銀行など)」の割合が 64.1%と最も多く、次いで「交通拠点機能(バスターミナルなど)」が 27.7%、「行政機能(役場、出張所など)」が 25.3%、「医療機能(病院、クリニックなど)」が 19.6%となっている。※無回答(234件)を除く計909件で算出

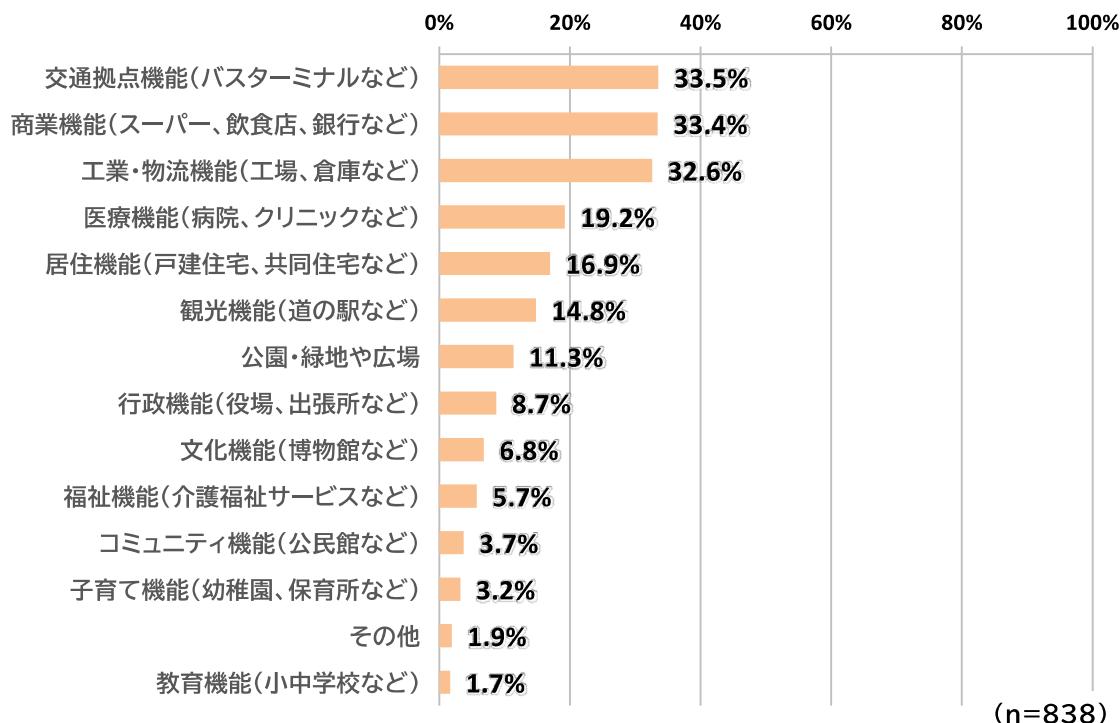


[その他の回答内容]

図書館、娯楽施設、スポーツ施設 など

② 千代田地区(芝山千代田駅周辺の市街地)※

「交通拠点機能(バスターミナルなど)」の割合が 33.5%と最も多く、次いで「商業機能(スーパー、飲食店、銀行など)」が 33.4%、「工業・物流機能(工場、倉庫など)」が 32.6%、「医療機能(病院、クリニックなど)」が 19.2%となっている。 ※無回答(305件)を除く計838件で算出

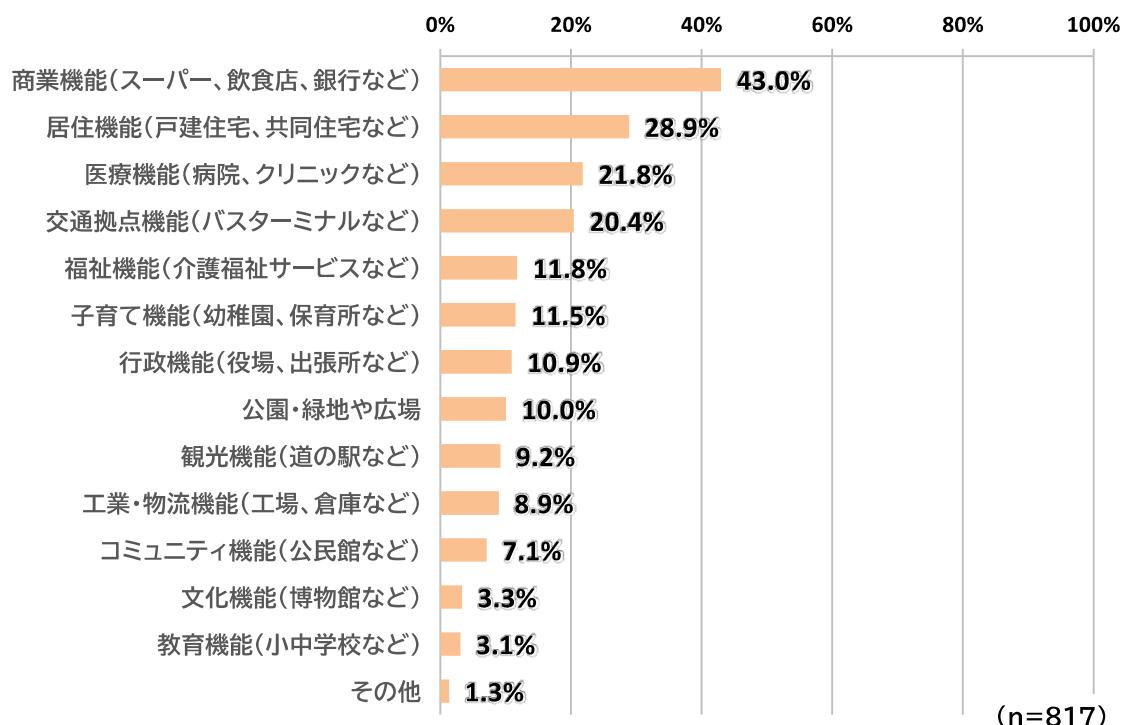


[その他の回答内容]

農業機能、大型駐車場、業務機能(オフィス等)、宿泊施設、娯楽施設 など

③ 川津場地区(県道八街三里塚線の沿道)※

「商業機能(スーパー、飲食店、銀行など)」の割合が 43.0%と最も多く、次いで「居住機能(戸建住宅、共同住宅など)」が 28.9%、「医療機能(病院、クリニックなど)」が 21.8%、「交通拠点機能(バスターミナルなど)」が 20.4%となっている。※無回答(326件)を除く計817件で算出

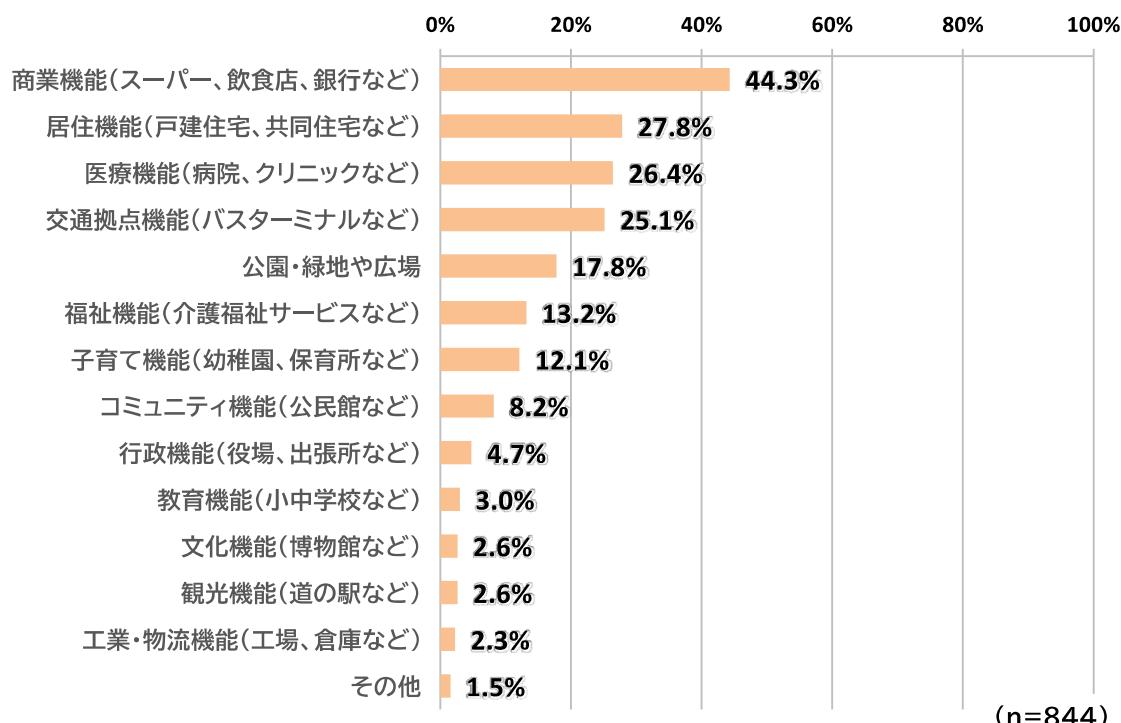


[その他の回答内容]

健康増進機能、農業機能、娯楽施設 など

④ はにわ台住宅団地*

「商業機能(スーパー、飲食店、銀行など)」の割合が 44.3%と最も多く、次いで「居住機能(戸建住宅、共同住宅など)」が 27.8%、「医療機能(病院、クリニックなど)」が 26.4%、「交通拠点機能(バスターミナルなど)」が 25.1%となっている。※無回答(299件)を除く計844件で算出



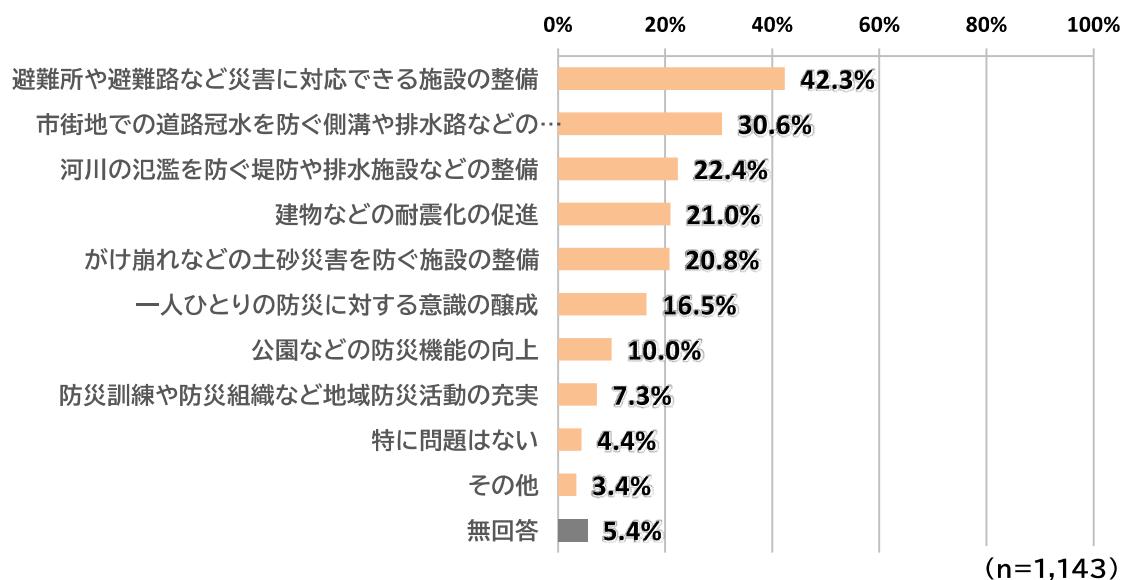
[その他の回答内容]

健康増進機能、農業機能、娯楽施設、コンビニエンスストア など

(5)防災まちづくりについて

問12 現在お住まいの地域の防災対策について、これから特に必要だと思う取組みは何ですか。【2つまで選択】

「避難所や避難路など災害に対応できる施設の整備」の割合が 42.3%と最も多く、次いで「市街地での道路冠水を防ぐ側溝や排水路などの整備」が 30.6%、「河川の氾濫を防ぐ堤防や排水施設などの整備」が 22.4%、「建物などの耐震化の促進」が 21.0%となっている。



[その他の回答内容]

防災無線の整備、停電対策、道路沿いの樹木の管理、地域コミュニティの充実 など

[属性別のクロス集計]

年齢別にみると、10～50歳代、60歳代以上ともに「避難所や避難路など災害に対応できる施設の整備」の割合が最も高く、次いで「市街地での道路冠水を防ぐ側溝や排水路などの整備」となっている。一方で、10歳代～50歳代では3番目に「建物などの耐震化の促進」、60歳代以上では「河川の氾濫を防ぐ堤防や排水施設などの整備」と、3番目以下の傾向が異なっている。

地区別にみると、北部地区と西部地区以外では「避難所や避難路など災害に対応できる施設の整備」の割合が最も高く、特に千代田地区では70%以上となっている。一方で、北部地区では「かけ崩れなどの土砂災害を防ぐ施設の整備」や「河川の氾濫を防ぐ堤防や排水施設などの整備」、西部地区では「市街地での道路冠水を防ぐ側溝や排水路などの整備」の割合が最も高くなっている。

年齢別	避難所や避難路など災害に対応できる施設の整備	建物などの耐震化の促進	かけ崩れなどの土砂災害を防ぐ施設の整備	市街地での道路冠水を防ぐ側溝や排水路などの整備	河川の氾濫を防ぐ堤防や排水施設などの整備	公園などの防災機能の向上	防災訓練や防災組織など地域防災活動の充実	一人ひとりの防災に対する意識の醸成	特に問題はない	その他	無回答
10～50歳代 (n=425)	44.0%	23.8%	22.6%	33.2%	19.3%	14.8%	5.4%	15.1%	4.7%	4.2%	0.9%
60歳代以上 (n=663)	44.5%	20.2%	21.4%	31.2%	26.1%	7.4%	9.0%	17.6%	4.5%	3.2%	2.1%

地区別	避難所や避難路など災害に対応できる施設の整備	建物などの耐震化の促進	かけ崩れなどの土砂災害を防ぐ施設の整備	市街地での道路冠水を防ぐ側溝や排水路などの整備	河川の氾濫を防ぐ堤防や排水施設などの整備	公園などの防災機能の向上	防災訓練や防災組織など地域防災活動の充実	一人ひとりの防災に対する意識の醸成	特に問題はない	その他	無回答
小池地区 (n=127)	44.9%	37.0%	18.9%	30.7%	11.0%	4.7%	7.9%	25.2%	1.6%	2.4%	2.4%
千代田地区 (n=31)	74.2%	12.9%	25.8%	32.3%	12.9%	19.4%	0.0%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%
川津場地区 (n=89)	40.4%	25.8%	5.6%	32.6%	14.6%	13.5%	14.6%	32.6%	5.6%	3.4%	1.1%
はにわ台住宅団地 (n=167)	62.3%	22.2%	7.2%	23.4%	15.0%	21.6%	9.0%	15.6%	4.8%	2.4%	2.4%
北部地区 (n=148)	33.8%	12.2%	38.5%	27.7%	38.5%	6.1%	6.1%	14.9%	6.1%	2.0%	2.0%
西部地区 (n=264)	40.5%	22.7%	20.8%	44.7%	16.3%	8.7%	6.4%	14.0%	6.1%	4.5%	2.3%
東部地区 (n=259)	40.9%	18.5%	28.6%	25.1%	37.8%	7.3%	6.9%	14.7%	3.5%	4.6%	0.8%

■ 最も多い回答

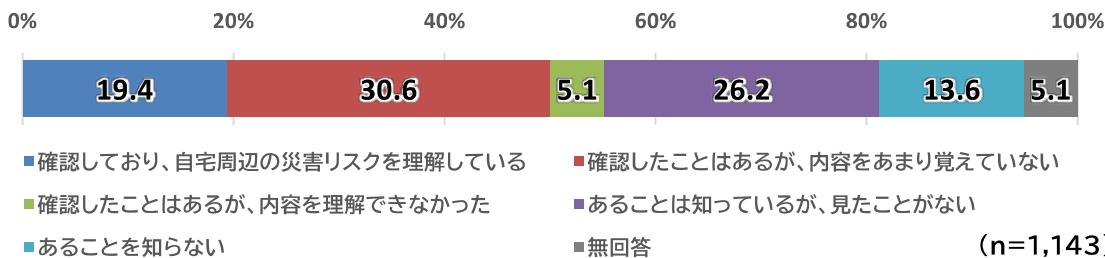
■ 2番目に多い回答

■ 3番目に多い回答

※「その他」と「無回答」を除く

問13 芝山町では風水害や土砂災害などの防災ハザードマップを公開していますが、内容を確認したことはありますか。【1つだけ選択】

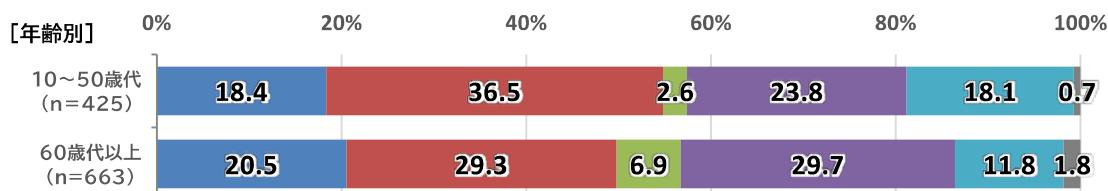
「確認したことはあるが、内容をあまり覚えていない」の割合が 30.6%と最も多く、次いで「あることは知っているが、見たことがない」が 26.2%、「確認しており、自宅周辺の災害リスクを理解している」が 19.4%、「あることを知らない」が 13.6%となっている。



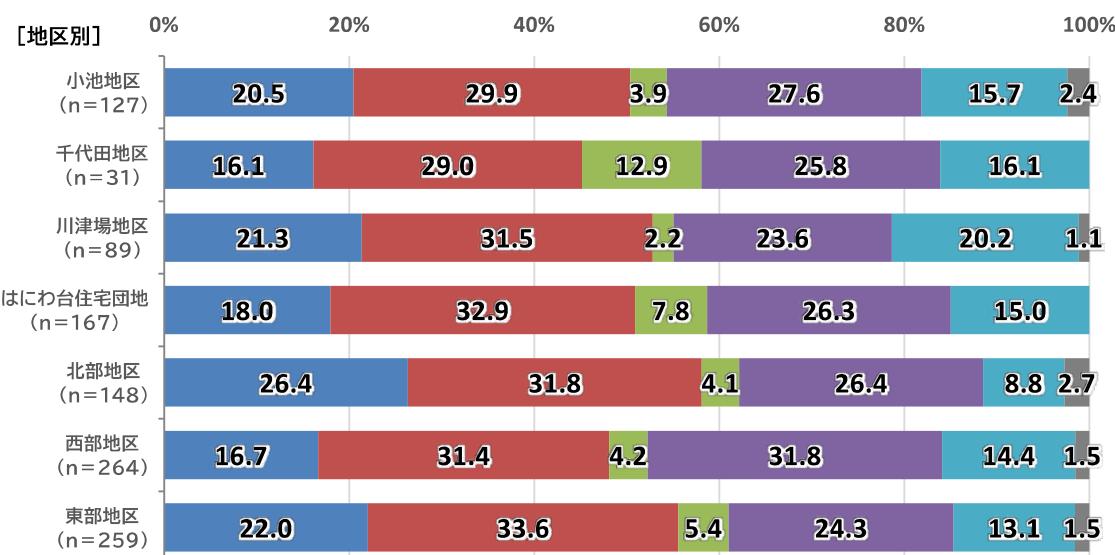
[属性別のクロス集計]

年齢別にみると、10歳代～50歳代、60歳代以上ともに「確認したことはある」の合計の割合は50%以上となっているものの、60歳代以上では10歳代～50歳代と比べ「確認したことはあるが、内容を理解できなかった」の割合が高くなっている。

地区別にみると、北部地区と東部地区では「確認したことはある」の合計の割合が60%以上と他地区に比べ高くなっている。



- 確認しており、自宅周辺の災害リスクを理解している
- 確認したことはあるが、内容を理解できなかった
- あることは知っているが、見たことがない
- あることを知らない
- 確認したことはあるが、内容をあまり覚えていない
- 無回答



- 確認しており、自宅周辺の災害リスクを理解している
- 確認したことはあるが、内容を理解できなかった
- あることは知っているが、見たことがない
- あることを知らない
- 確認したことはあるが、内容をあまり覚えていない
- 無回答

**問14 これから芝山町において、災害の危険性がある地域での住宅立地について、
どのように対応していくべきだと思いますか。【住宅形態ごとに1つずつ選択】**

① 新たに建てる住宅

「防災対策を実施するなど一定の安全性が見込める場合は認めるべき」の割合が 34.8%と最も多く、次いで「建築を規制する、もしくは移転させるべき」が 33.5%、「どこに住むかは住民の自由なので行政が規制すべきではない」が 10.9%、「わからない」が 8.8%となっている。



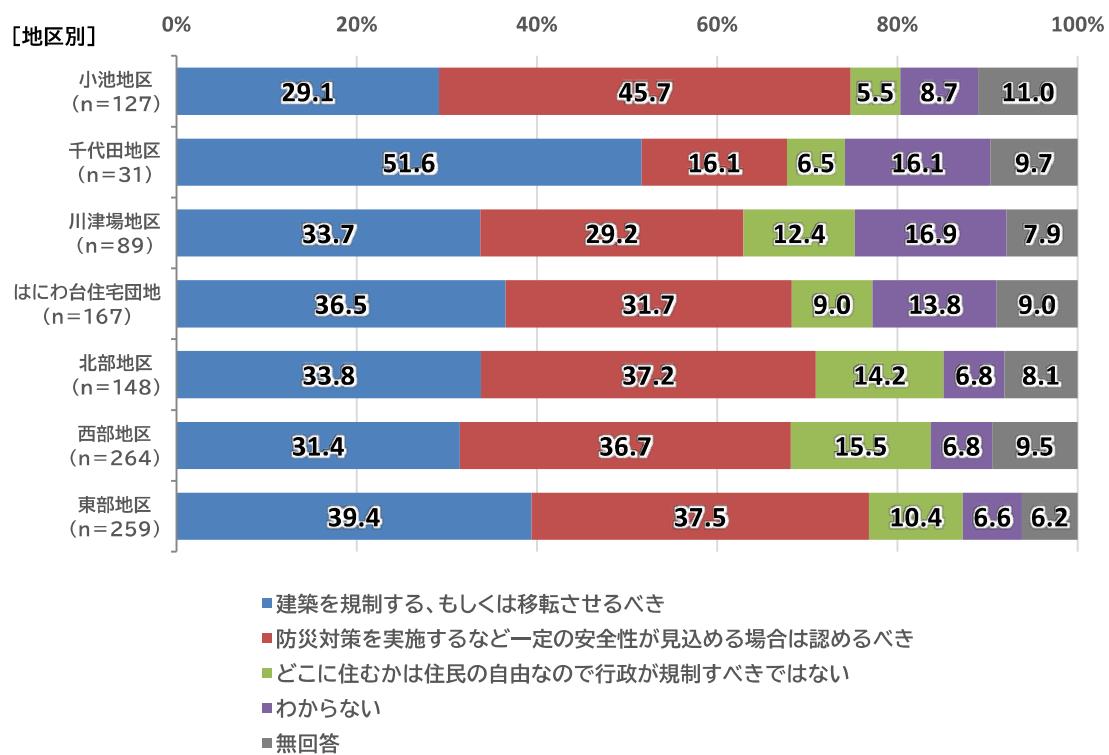
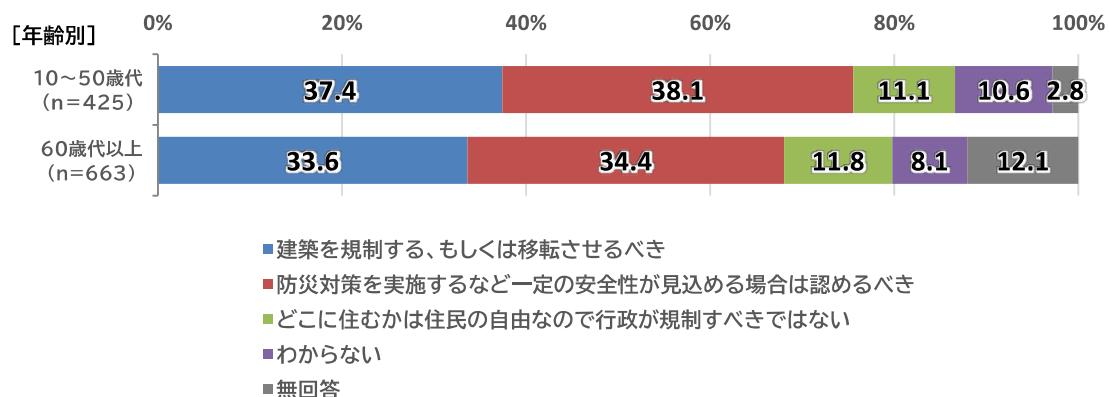
- 建築を規制する、もしくは移転させるべき
- 防災対策を実施するなど一定の安全性が見込める場合は認めるべき
- どこに住むかは住民の自由なので行政が規制すべきではない
- わからない
- 無回答

(n=1,143)

[属性別のクロス集計]

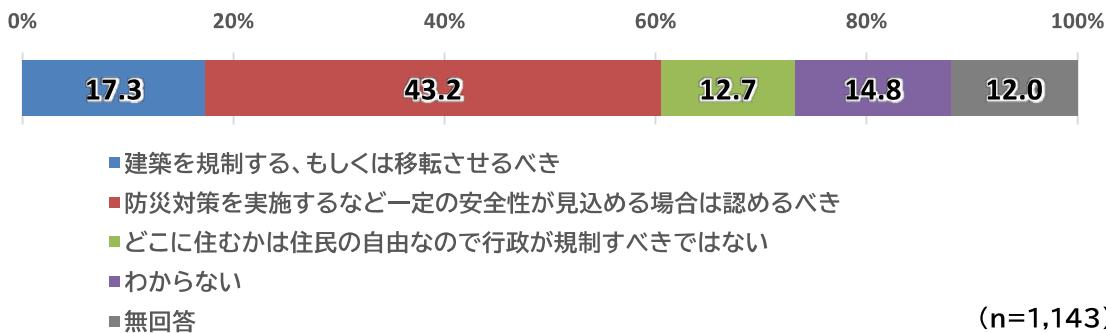
年齢別にみると、10歳代～50歳代では、「防災対策を実施するなど一定の安全性が見込める場合は認めるべき」や「建築を規制する、もしくは移転させるべき」の割合が60歳代以上と比べ高くなっている。

地区別でみると、千代田地区、川津場地区、はにわ台住宅団地、東部地区では「建築を規制する、もしくは移転させるべき」の割合が最も高く、特に千代田地区では50%以上となっている。また、北部地区や西部地区では、「どこに住むかは住民の自由なので行政が規制すべきではない」の割合が他地区と比べ高くなっている。



② 既存の住宅

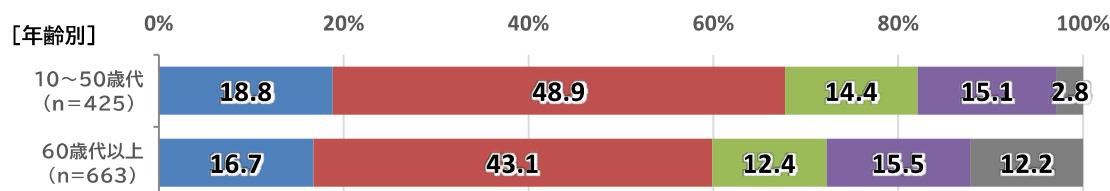
「防災対策を実施するなど一定の安全性が見込める場合は認めるべき」の割合が 43.2%と最も多く、次いで「建築を規制する、もしくは移転させるべき」が 17.3%、「わからない」が 14.8%、「どこに住むかは住民の自由なので行政が規制すべきではない」が 12.7%となっている。



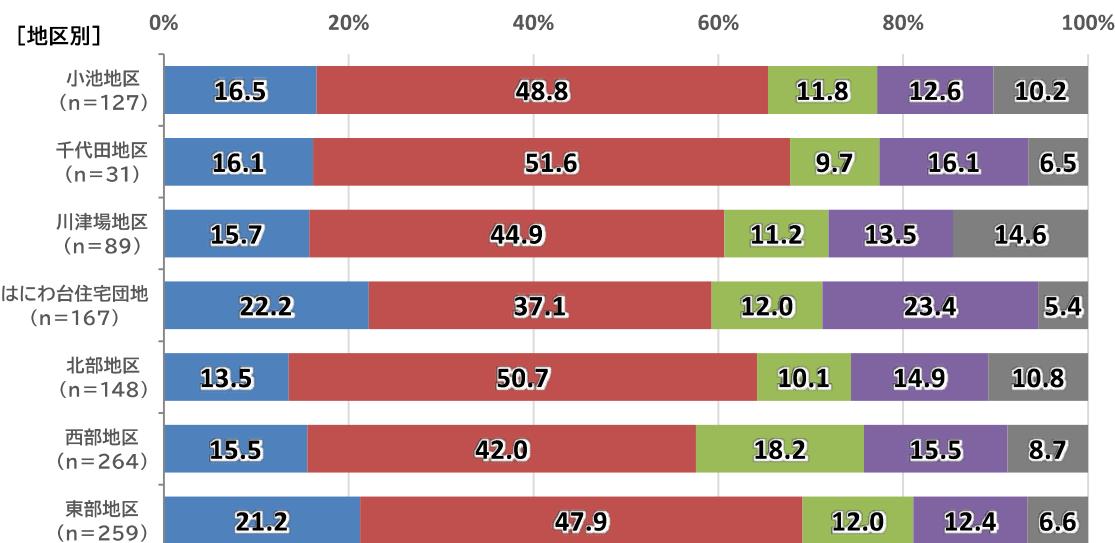
[属性別のクロス集計]

年齢別にみると、10歳代～50歳代では、「防災対策を実施するなど一定の安全性が見込める場合は認めるべき」や「建築を規制する、もしくは移転させるべき」の割合が60歳代以上と比べ高くなっている。

地区別でみると、はにわ台住宅団地と東部地区では「建築を規制する、もしくは移転させるべき」の割合が最も高く、20%以上となっている。また、西部地区では、「どこに住むかは住民の自由なので行政が規制すべきではない」の割合が他地区と比べ高くなっている。



- 建築を規制する、もしくは移転させるべき
- 防災対策を実施するなど一定の安全性が見込める場合は認めるべき
- どこに住むかは住民の自由なので行政が規制すべきではない
- わからない
- 無回答



- 建築を規制する、もしくは移転させるべき
- 防災対策を実施するなど一定の安全性が見込める場合は認めるべき
- どこに住むかは住民の自由なので行政が規制すべきではない
- わからない
- 無回答

(6)現在お住まいになっている地区の状況について

問15 現在お住まいの地区の生活環境についてどのように感じていますか。

【項目ごとに満足度と充実希望度を1つずつ選択】

«参考» 加重平均による評価方法について

問15では、(ア)～(ノ)の項目ごとの「満足度」、「充実希望度」の回答に対し、以下の計算式から「加重平均」による「満足度指数」と「充実希望度指数」を算出する。

[満足度指数 = A ÷ B]

$$A = \text{「満足している」の回答数} \times 2\text{点} + \text{「一応満足している」の回答数} \times 1\text{点} \\ + \text{「どちらでもない」の回答数} \times 0\text{点} + \text{「やや不満である」の回答数} \times -1\text{点} \\ + \text{「不満である」の回答数} \times -2\text{点}$$

B = 「無回答」を除く全回答数

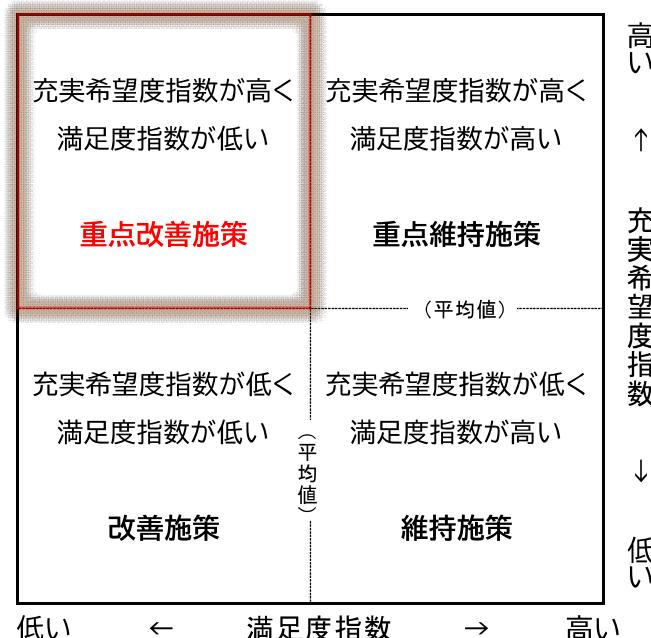
[充実希望度指数 = C ÷ D]

$$C = \text{「充実を希望する」の回答数} \times 2\text{点} + \text{「やや希望する」の回答数} \times 1\text{点} \\ + \text{「どちらでもない」の回答数} \times 0\text{点} + \text{「あまり希望しない」の回答数} \times -1\text{点} \\ + \text{「充実を希望しない」の回答数} \times -2\text{点}$$

D = 「無回答」を除く全回答数

上記の計算式から得られる満足度指数及び充実希望度指数の値は、「満足している」または「充実を希望する」への回答数が多いほどプラスになり、「不満である」または「充実を希望しない」への回答数が多いほどマイナスになる。

したがって、各地区の平均値より充実希望度指数の値が高く、満足度指数の値が低い項目については、当該地区の重点改善施策として捉えることができる。



[芝山町全体の評価結果]

項目		満足度指数	重要度指数
利便性	ア. 通勤・通学の便利さ	-0.72	1.23
	イ. 自転車の利用しやすさ	0.12	0.95
	ウ. バスの運行本数・運行時間	-1.11	1.12
	エ. バスのルート	-0.97	1.07
	オ. 買い物の便利さ	-0.84	1.24
	カ. 役場など行政窓口の充実	0.06	0.78
	キ. 病院など医療・福祉施設の充実	-0.58	1.19
都市基盤	ク. 広場や公園などの遊び場	-0.48	0.77
	ケ. 生活道路の整備	-0.55	1.12
	コ. 雨水処理の状況	-0.43	0.95
	サ. 下水道（汚水）の整備	-0.10	0.79
	シ. 学校など教育施設の整備	-0.08	0.72
	ス. 図書館など文化施設の整備	-0.42	0.80
	セ. 運動・スポーツ施設の整備	-0.32	0.72
快適性・魅力	ソ. 営農環境の保全・管理	-0.21	0.56
	タ. 自然環境の保全	-0.07	0.64
	チ. 自然的景観の美しさ	0.00	0.65
	ツ. 街並み景観の美しさ	-0.29	0.66
	テ. 歴史・文化資源の保全・活用	-0.01	0.53
	ト. 宅地の広さやゆとり	0.41	0.39
	ナ. 騒音、悪臭などへの対策	-0.46	0.92
安全性	二. 交通安全対策	-0.41	1.03
	ヌ. 自然災害に対する防災対策	-0.39	0.99
	ネ. まちの防犯対策	-0.39	1.05
	ノ. 空き家などの管理及び抑制対策	-0.74	1.09
指標平均値		-0.36	0.88

※赤塗りは各指標の最大値、青塗りは各指標の最小値を示す。

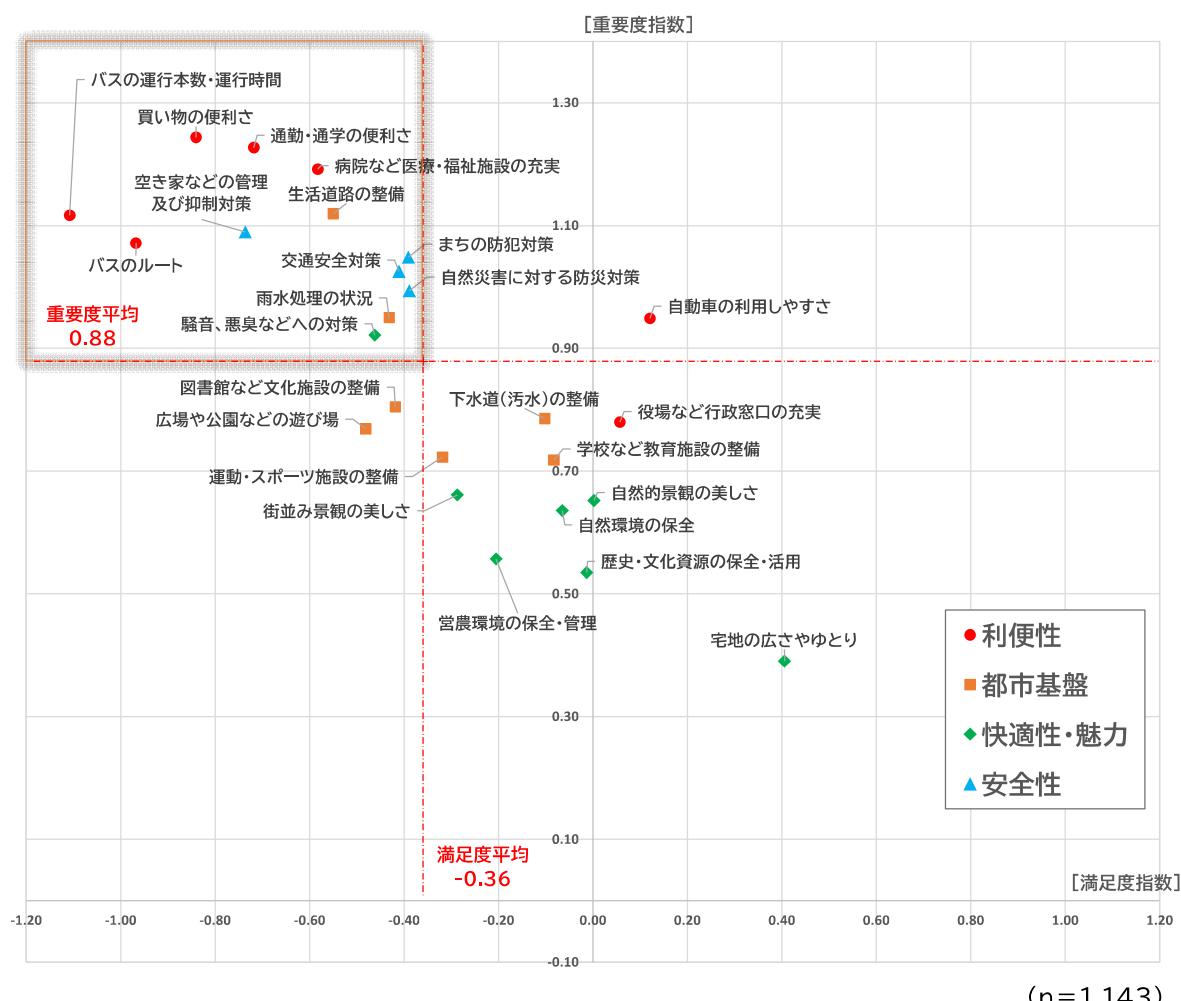
芝山町全体の満足度指数では、プラスとなった項目が4個、マイナスとなった項目が21個であり、平均値は-0.36となっている。充実希望度指数では、全て項目でプラスとなり、平均値は0.88となっている。

平均値より充実希望度指数が高く、満足度指数が低い項目は、【利便性】では「通勤・通学の便利さ」、「バスの運行本数・運行時間」、「バスのルート」、「買い物の利便さ」、【都市基盤】では「生活道路の整備」、「雨水処理の状況」、【快適性・魅力】では「騒音、悪臭などの対策」、【安全性】では「交通安全対策」、「自然災害に対する防災対策」、「まちの防犯対策」、「空き家などの管理及び抑制対策」となっている。

芝山町全体としては、【利便性】と【安全性】の満足度が低く、充実希望度が高い傾向にある。一方で、【快適性・魅力】の満足度は高く、充実希望度は低い傾向にある。

また、都市マス策定時の調査※と比較すると、満足度指数の平均(-0.38)と充実希望度指数の平均(0.92)と、5年経過で大きな変化はみられない。項目別では、「自然災害に対する防災対策」と「雨水処理の状況」の満足度が相対的に低下し、重点改善施策となっている。

※「芝山町の新たなまちづくりに向けた住民意向調査」平成30年10月～11月実施

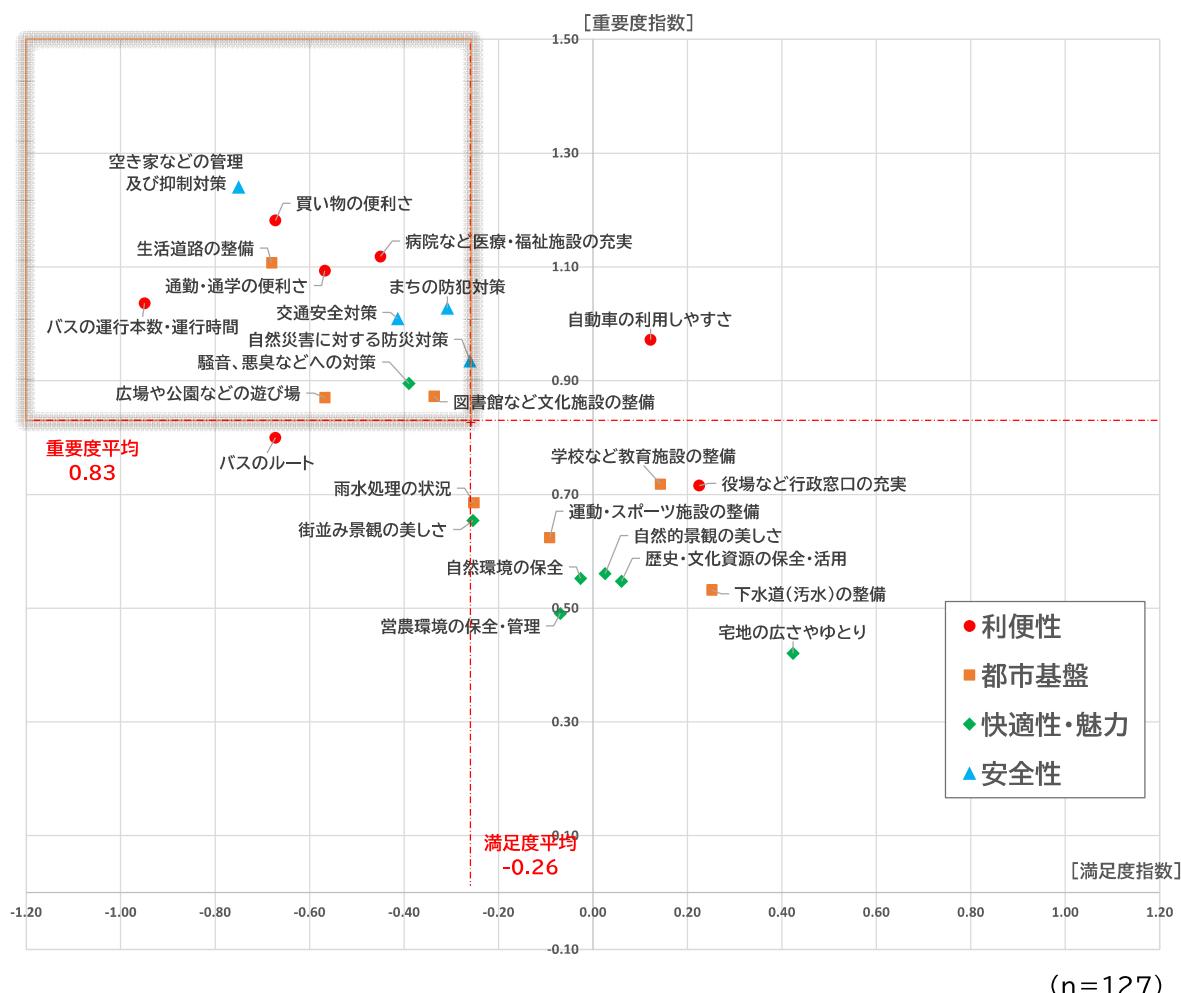


[地区区別の評価結果]

① 小池地区

小池地区の満足度指数では、プラスとなった項目が7個、マイナスとなった項目が18個であり、平均値は-0.26となっている。充実希望度指数では、全て項目でプラスとなり、平均値は0.83となっている。

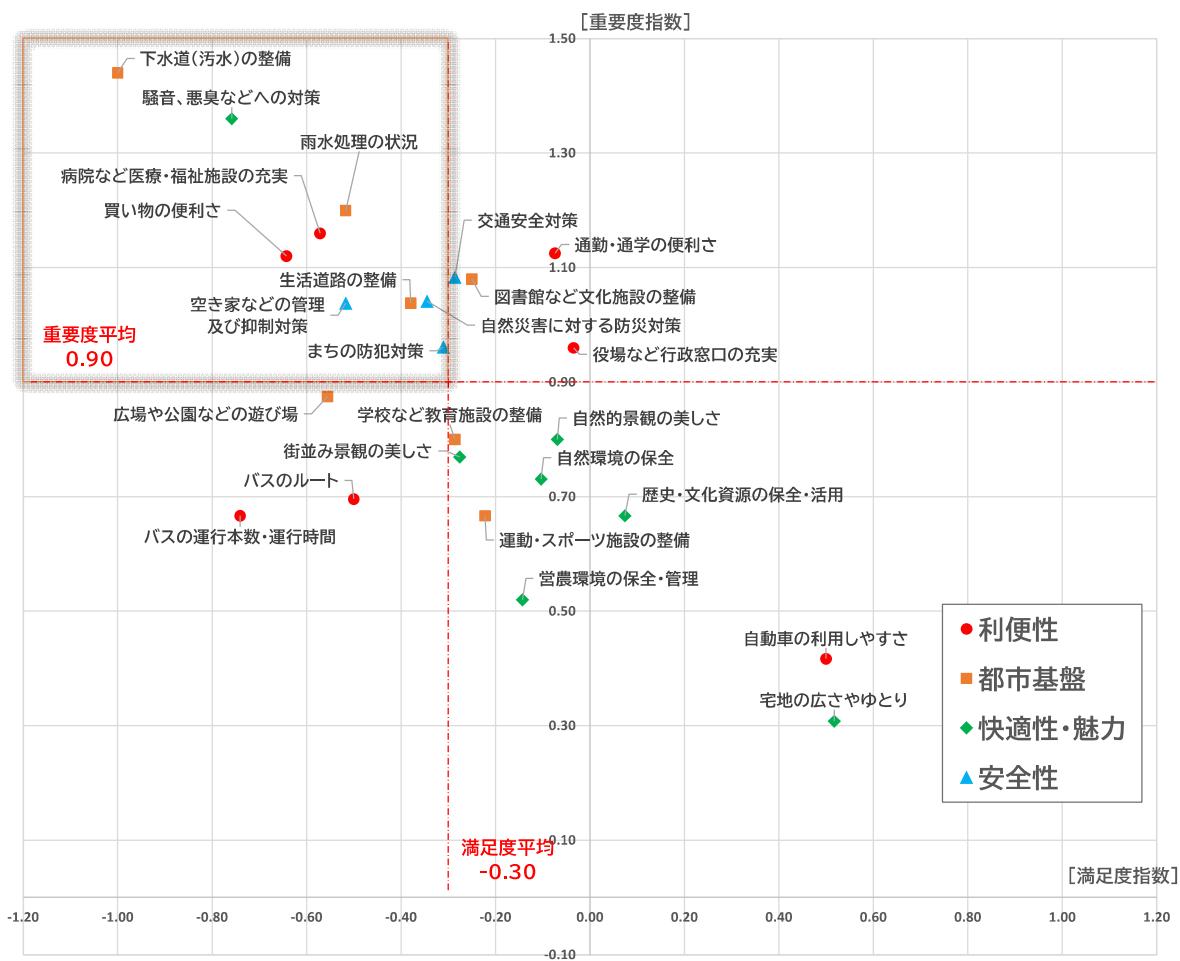
平均値より充実希望度指数が高く、満足度指数が低い項目は、【利便性】では「通勤・通学の便利さ」、「バスの運行本数・運行時間」、「買い物の利便さ」、「病院など医療・福祉施設の充実」、【都市基盤】では「生活道路の整備」、「広場や公園などの遊び場」、「図書館など文化施設の整備」、【快適性・魅力】では「騒音、悪臭などの対策」、【安全性】では「空き家などの管理及び抑制対策」、「交通安全対策」、「まちの防犯対策」、「自然災害に対する防災対策」となっている。



② 千代田地区

千代田地区の満足度指数では、プラスとなった項目が3個、マイナスとなった項目が22個であり、平均値は-0.30 となっている。充実希望度指数では、全て項目でプラスとなり、平均値は0.90 となっている。

平均値より充実希望度指数が高く、満足度指数が低い項目は、【利便性】では「買い物の利便さ」、「病院など医療・福祉施設の充実」、【都市基盤】では「下水道(汚水)の整備」、「雨水処理の状況」、「生活道路の整備」、【快適性・魅力】では「騒音、悪臭などの対策」、【安全性】では「空き家などの管理及び抑制対策」、「まちの防犯対策」、「自然災害に対する防災対策」となっている。

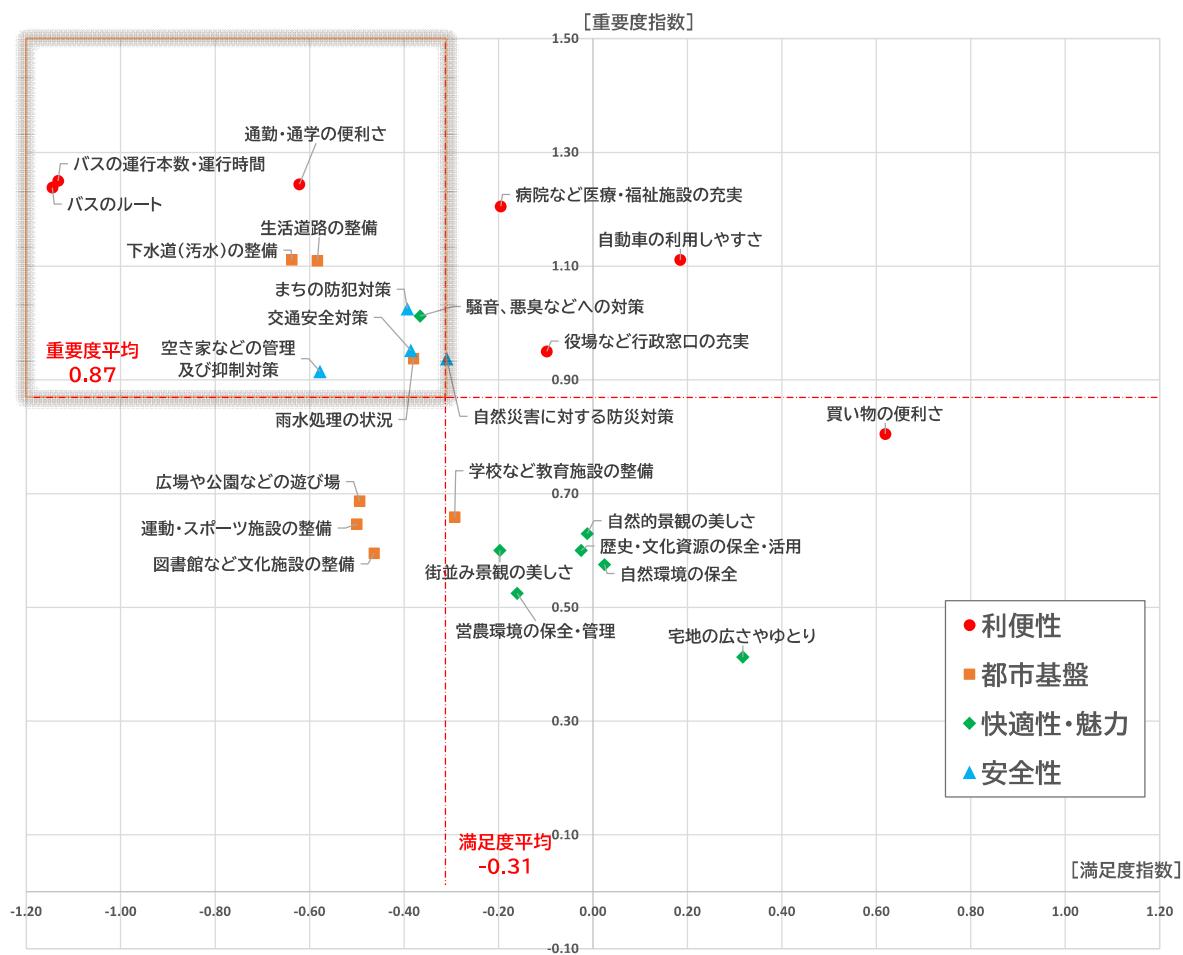


(n=31)

③ 川津場地区

川津場地区の満足度指数では、プラスとなった項目が4個、マイナスとなった項目が21個であり、平均値は-0.31となっている。充実希望度指数では、全て項目でプラスとなり、平均値は0.87となっている。

平均値より充実希望度指数が高く、満足度指数が低い項目は、【利便性】では「バスの運行本数・運行時間」、「バスのルート」、【都市基盤】では「下水道(汚水)の整備」、「生活道路の整備」、「雨水処理の状況」、【快適性・魅力】では「騒音、悪臭などの対策」、【安全性】では「空き家などの管理及び抑制対策」、「まちの防犯対策」、「交通安全対策」、「自然災害に対する防災対策」となっている。

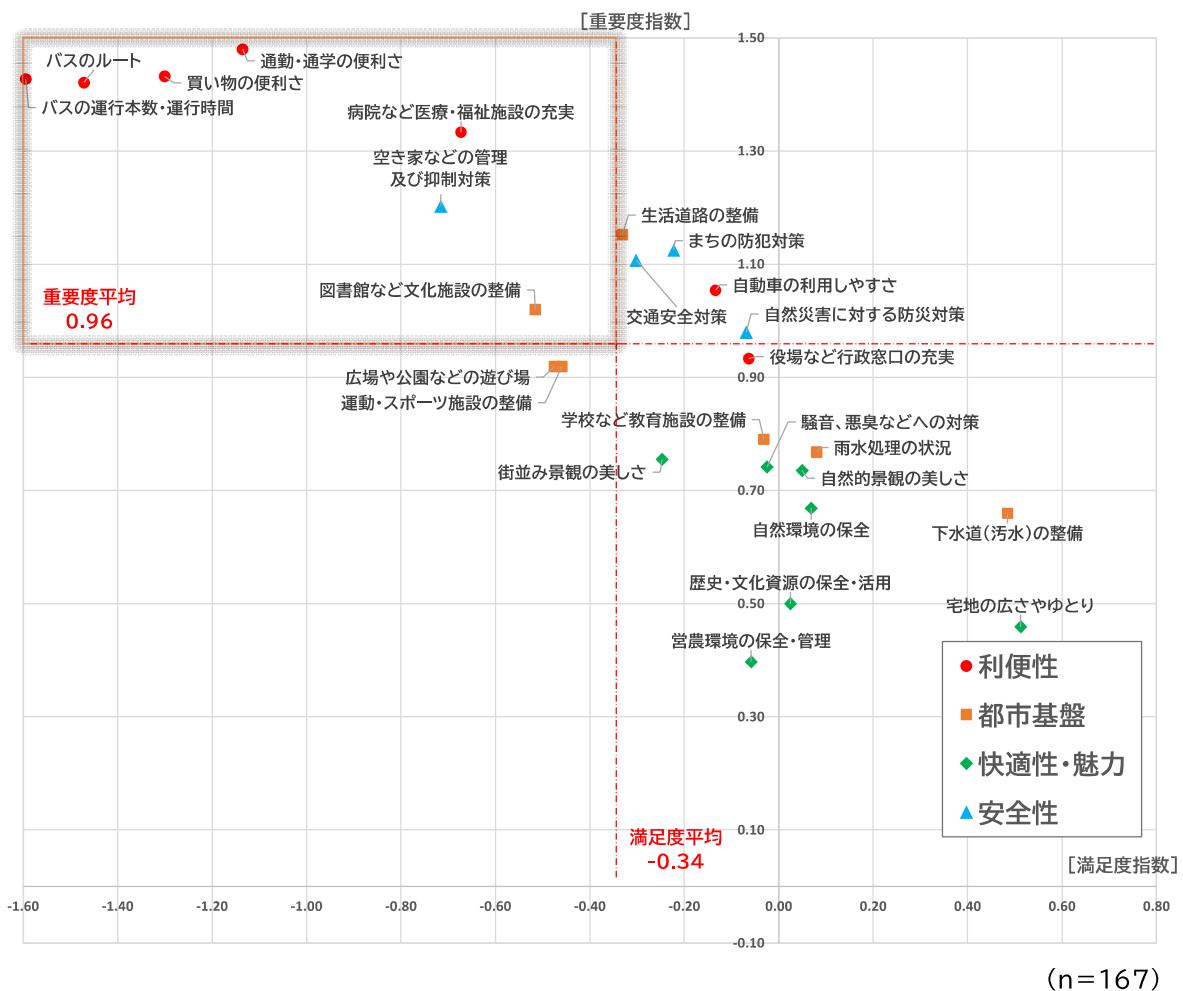


(n=89)

④ はにわ台住宅団地

はにわ台住宅団地の満足度指数では、プラスとなった項目が6個、マイナスとなった項目が19個であり、平均値は-0.34 となっている。充実希望度指数では、全て項目でプラスとなり、平均値は 0.96 となっている。

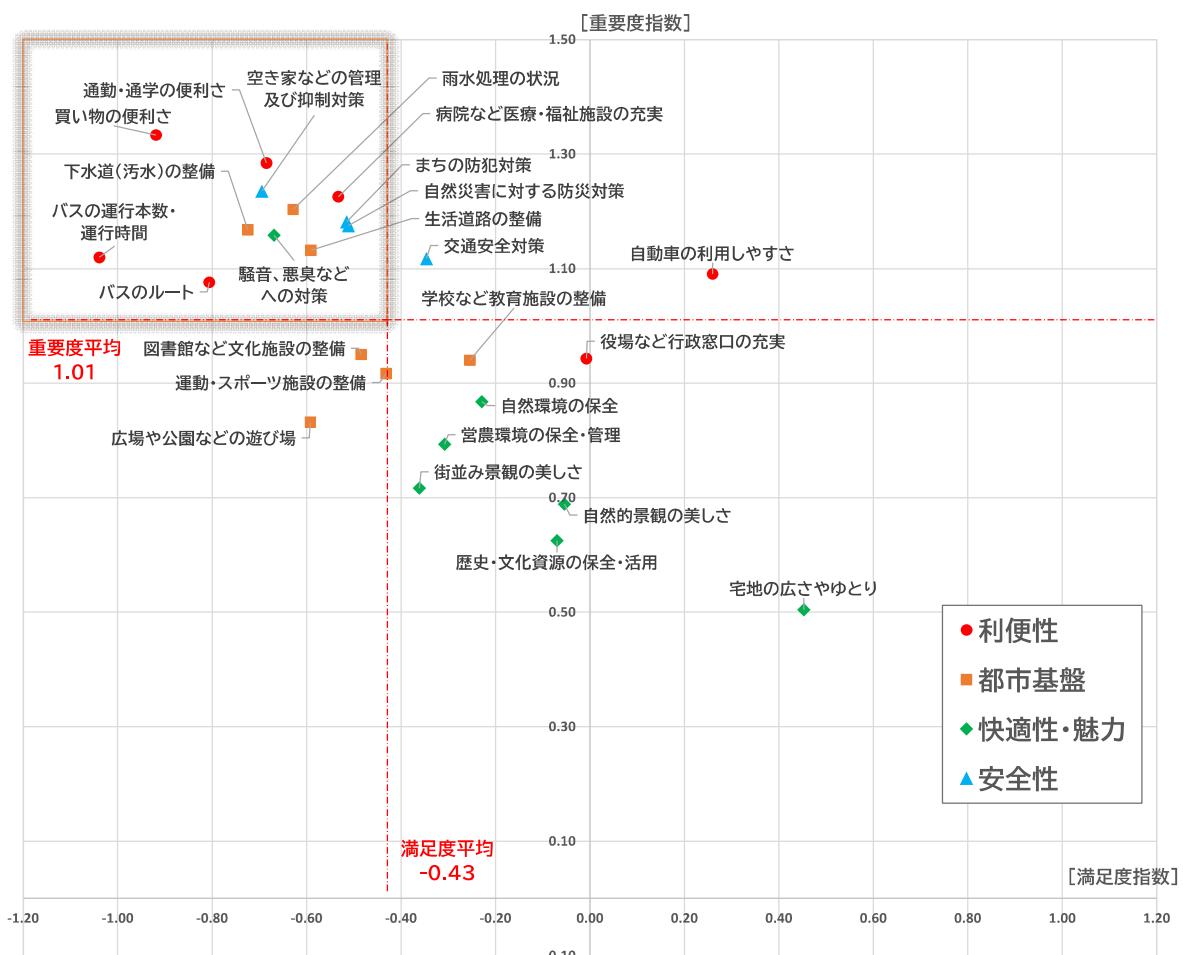
平均値より充実希望度指数が高く、満足度指数が低い項目は、【利便性】では「バスの運行本数・運行時間」、「バスのルート」、「買い物の便利さ」、「通勤・通学の便利さ」、「病院など医療・福祉施設の充実」、【都市基盤】では「図書館など文化施設の整備」、【安全性】では「空き家などの管理及び抑制対策」となっている。



⑤ 北部地区

北部地区の満足度指数では、プラスとなった項目が2個、マイナスとなった項目が23個であり、平均値は-0.43 となっている。充実希望度指数では、全て項目でプラスとなり、平均値は 1.01 となっている。

平均値より充実希望度指数が高く、満足度指数が低い項目は、【利便性】では「買い物の便利さ」、「通勤・通学の便利さ」、「バスの運行本数・運行時間」、「バスのルート」、「病院など医療・福祉施設の充実」、【都市基盤】では「下水道(汚水)の整備」、「雨水処理の状況」、「生活道路の整備」、【快適性・魅力】では「騒音、悪臭などの対策」、【安全性】では「空き家などの管理及び抑制対策」、「まちの防犯対策」、「自然災害に対する防災対策」となっている。

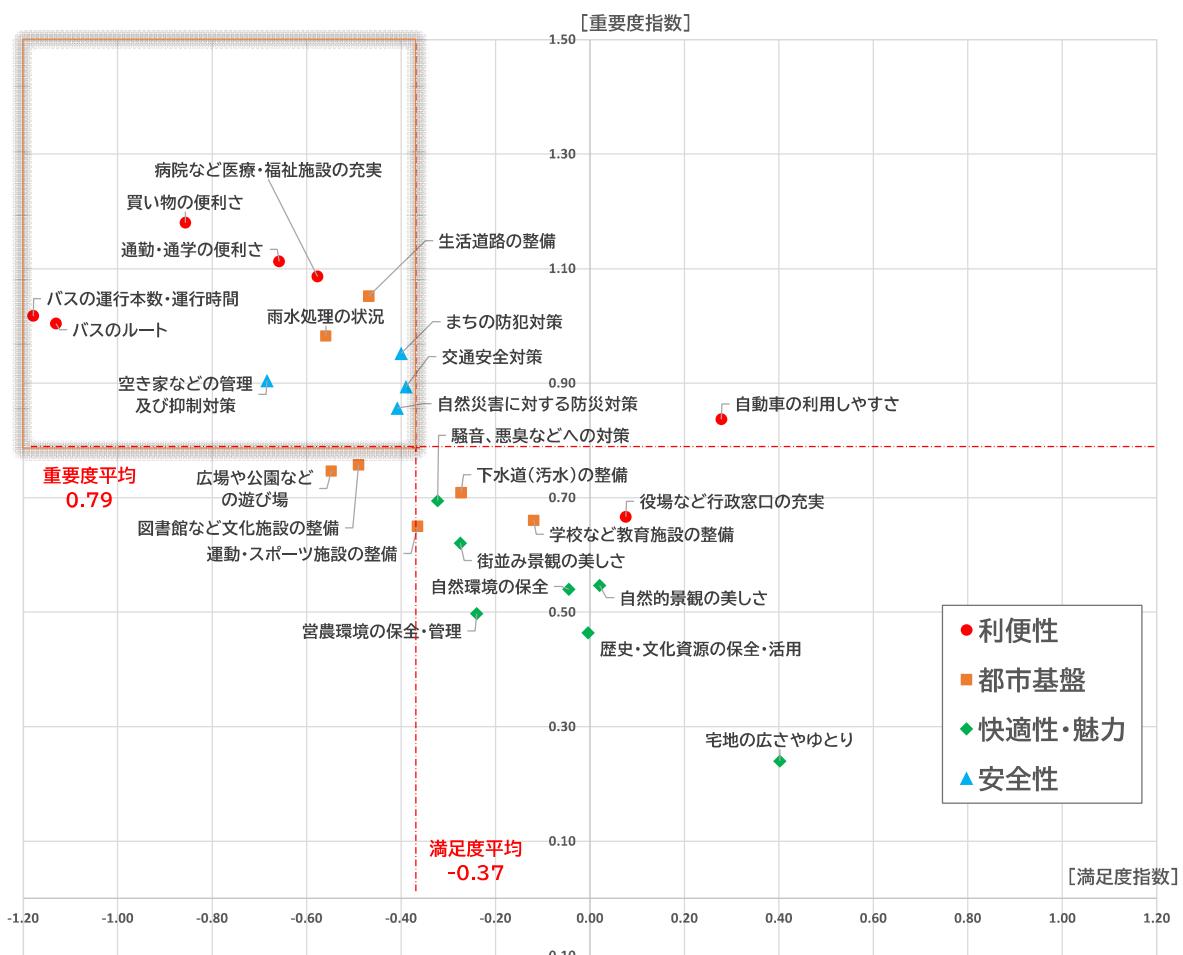


(n=148)

⑥ 西部地区

北部地区の満足度指数では、プラスとなった項目が4個、マイナスとなった項目が21個であり、平均値は-0.37となっている。充実希望度指数では、全て項目でプラスとなり、平均値は0.79となっている。

平均値より充実希望度指数が高く、満足度指数が低い項目は、【利便性】では「買い物の便利さ」、「通勤・通学の便利さ」、「バスの運行本数・運行時間」、「バスのルート」、「病院など医療・福祉施設の充実」、【都市基盤】では「雨水処理の状況」、「生活道路の整備」、【安全性】では「空き家などの管理及び抑制対策」、「まちの防犯対策」、「交通安全対策」、「自然災害に対する防災対策」となっている。

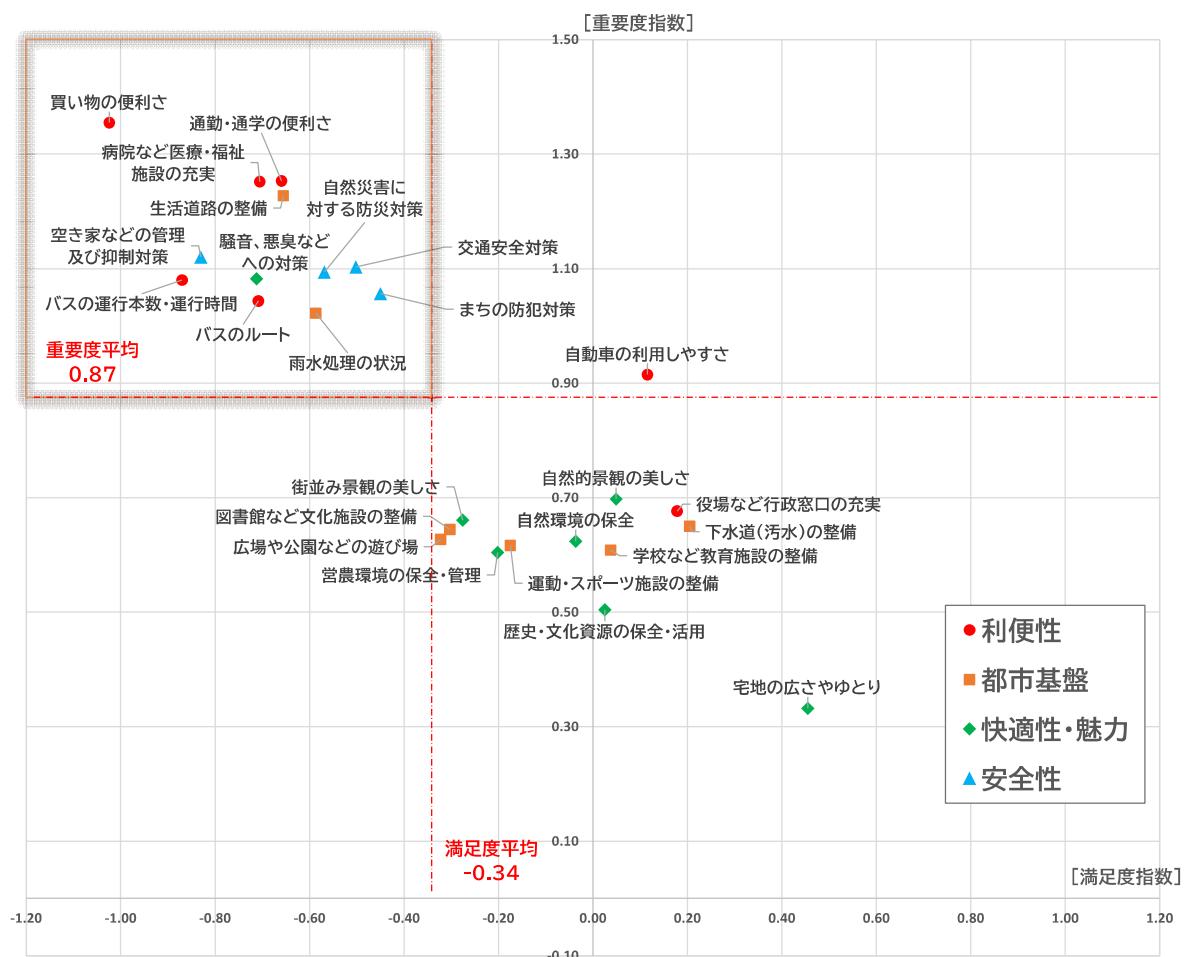


(n=264)

⑦ 東部地区

東部地区の満足度指数では、プラスとなった項目が7個、マイナスとなった項目が18個であり、平均値は-0.34となっている。充実希望度指数では、全て項目でプラスとなり、平均値は0.87となっている。

平均値より充実希望度指数が高く、満足度指数が低い項目は、【利便性】では「買い物の便利さ」、「通勤・通学の便利さ」、「バスの運行本数・運行時間」、「バスのルート」、「病院など医療・福祉施設の充実」、【都市基盤】では「生活道路の整備」、「雨水処理の状況」、【快適性・魅力】では「騒音、悪臭などの対策」、【安全性】では「空き家などの管理及び抑制対策」、「自然災害に対する防災対策」、「交通安全対策」、「まちの防犯対策」となっている。



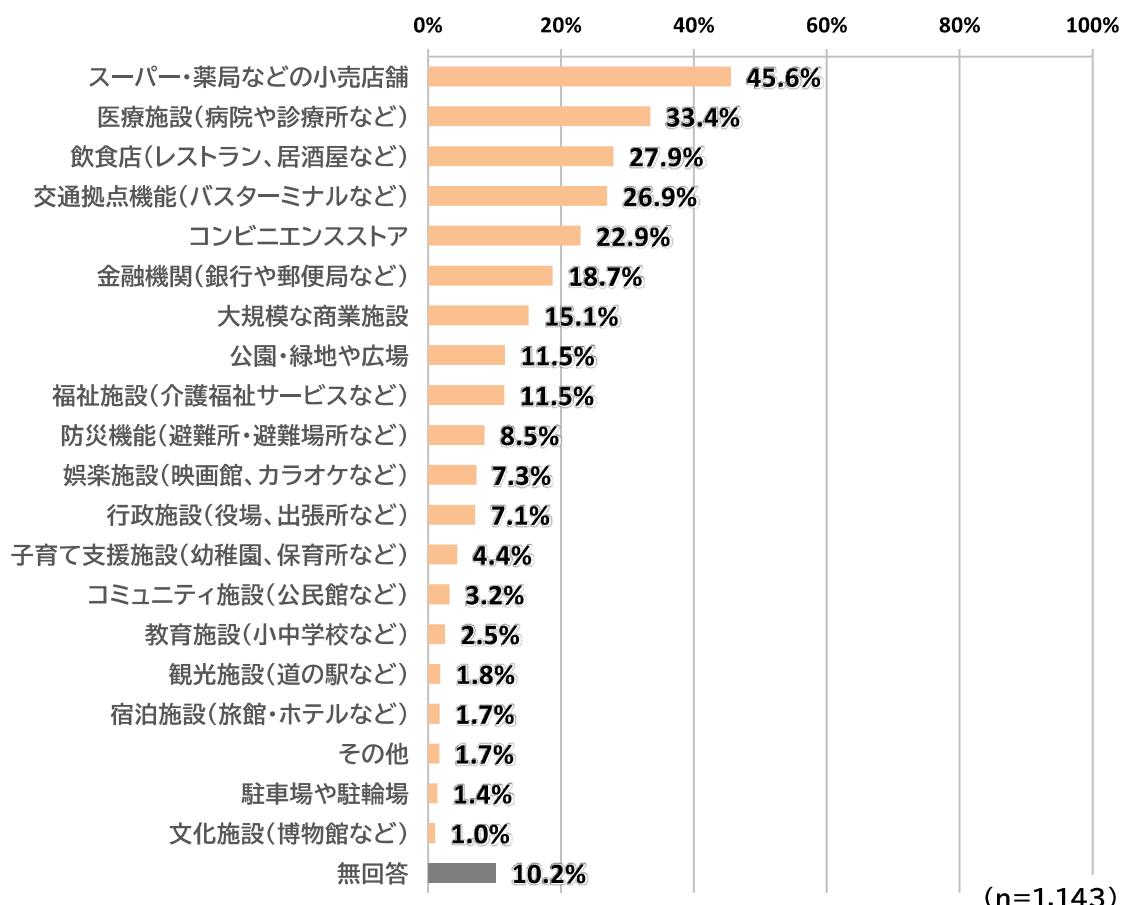
(n=259)

問16 あなたがお住まいの地区で生活していくうえで、地区周辺に特に必要だと思う施設や機能は何ですか。【3つまで選択】

「スーパー・薬局などの小売店舗」の割合が 45.6%と最も多く、次いで「医療施設(病院や診療所など)」が 33.4%、「飲食店(レストラン、居酒屋など)」が 27.9%、「交通拠点機能(バスターミナルなど)」が 26.9%となっている。

また、都市マス策定時の調査※では、「スーパー・薬局などの小売店舗」が 49.6%、「医療施設(病院や診療所など)」が 35.0%、「飲食店(レストラン、居酒屋など)」が 32.1%となっており、5年前との比較においても上位3項目は変わらず、概ね同様の傾向である。

※「芝山町の新たなまちづくりに向けた住民意向調査」平成30年10月～11月実施



[その他の回答内容]

幹線道路へのアクセス、図書館、電器店、ホームセンター、居住地 など

[属性別のクロス集計]

年齢別にみると、10歳代～50歳代、60歳代以上ともに同様の傾向であるものの、10歳代～50歳代では特に「スーパー・薬局などの小売店舗」が50%以上となっている。

地区別にみると、小池地区や川津場地区では「交通拠点機能(バスターミナルなど)」の割合が他地区と比べ高くなっています。特に川津場地区では42.7%と最も高くなっています。また、はにわ台住宅団地では、「スーパー・薬局などの小売店舗」に次いで、「コンビニエンスストア」の割合が44.9%と他地区に比べ特に高くなっています。

年齢別	コンビニエンスストア	小売店舗	大規模な商業施設	飲食店	金融機関	宿泊施設	医療施設	子育て支援施設	福祉施設	行政施設	コミュニティ施設	娯楽施設	教育施設	公園・緑地や広場	文化施設	観光施設	交通拠点機能	駐車場や駐輪場	防災機能	その他	無回答
10～50歳代 (n=425)	25.6%	53.2%	19.8%	31.5%	21.2%	1.2%	35.1%	4.5%	6.8%	4.7%	3.3%	12.2%	1.9%	14.8%	1.2%	2.4%	28.5%	1.4%	5.4%	2.6%	2.8%
60歳代以上 (n=663)	22.8%	43.7%	13.4%	26.7%	18.6%	2.3%	34.8%	4.7%	15.1%	9.2%	3.5%	4.7%	3.2%	9.7%	1.1%	1.7%	26.8%	1.5%	11.0%	1.2%	9.5%

地区別	コンビニエンスストア	小売店舗	大規模な商業施設	飲食店	金融機関	宿泊施設	医療施設	子育て支援施設	福祉施設	行政施設	コミュニティ施設	娯楽施設	教育施設	公園・緑地や広場	文化施設	観光施設	交通拠点機能	駐車場や駐輪場	防災機能	その他	無回答
小池地区 (n=127)	6.3%	44.1%	24.4%	35.4%	10.2%	4.7%	30.7%	3.9%	15.7%	3.1%	3.9%	8.7%	1.6%	14.2%	1.6%	0.8%	40.2%	1.6%	5.5%	0.8%	9.4%
千代田地区 (n=31)	6.5%	58.1%	22.6%	29.0%	29.0%	0.0%	38.7%	3.2%	22.6%	6.5%	9.7%	3.2%	0.0%	22.6%	3.2%	0.0%	19.4%	0.0%	3.2%	0.0%	3.2%
川津場地区 (n=89)	5.6%	20.2%	14.6%	37.1%	37.1%	1.1%	18.0%	5.6%	15.7%	22.5%	9.0%	6.7%	3.4%	16.9%	2.2%	2.2%	42.7%	2.2%	6.7%	3.4%	3.4%
はにわ台住宅団地 (n=167)	44.9%	50.3%	10.2%	18.6%	24.6%	0.6%	35.3%	3.6%	7.2%	6.0%	3.0%	6.0%	1.2%	8.4%	0.0%	0.6%	35.3%	1.8%	6.0%	3.0%	6.0%
北部地区 (n=148)	19.6%	53.4%	10.1%	22.3%	15.5%	0.7%	43.2%	8.1%	8.8%	15.5%	2.7%	4.7%	5.4%	10.1%	1.4%	3.4%	18.9%	2.0%	7.4%	2.0%	10.1%
西部地区 (n=264)	28.0%	46.2%	17.0%	35.6%	21.6%	2.3%	30.3%	3.8%	9.5%	4.2%	2.7%	12.9%	3.0%	12.1%	0.8%	1.1%	20.1%	0.4%	12.1%	1.5%	6.1%
東部地区 (n=259)	25.5%	52.5%	16.2%	26.3%	13.5%	1.9%	40.9%	4.2%	14.3%	3.5%	1.9%	5.0%	2.3%	12.0%	1.2%	3.5%	26.3%	1.9%	11.6%	1.2%	6.2%

■ 最も多い回答

■ 2番目に多い回答

■ 3番目に多い回答

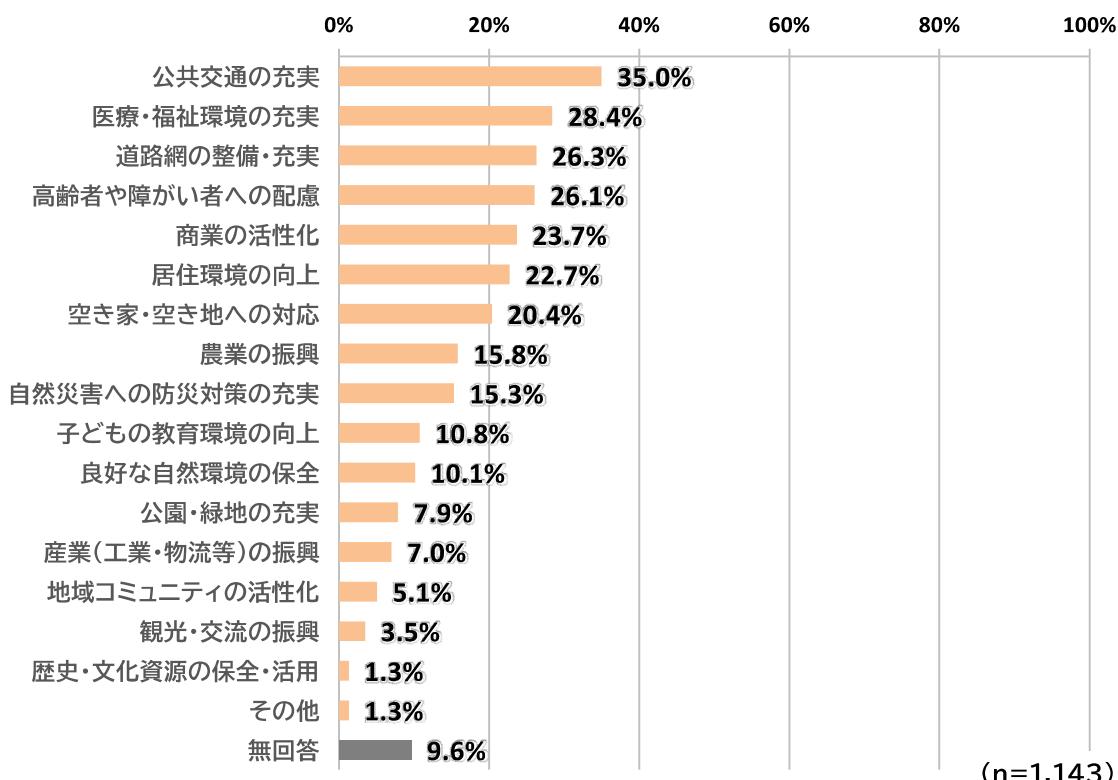
※「その他」と「無回答」を除く

問17 あなたがお住まいの地区において、これから最も力を入れて取り組むべきまちづくり方策は何だと思いますか。【3つまで選択】

「公共交通の充実」の割合が 35.0%と最も多く、次いで「医療・福祉環境の充実」が 28.4%、「道路網の整備・充実」が 26.3%、「高齢者や障がい者への配慮」が 26.1%となっている。

また、都市マス策定時の調査※では、「医療・福祉環境の充実」が 31.7%、「居住環境の向上」が 31.5%、「公共交通の充実」が 29.3%となっており、5年経過で「居住環境の向上」の割合が減少しているものの、「公共交通の充実」の割合が増加している。

※「芝山町の新たなまちづくりに向けた住民意向調査」平成30年10月～11月実施



[その他の回答内容]

上下水道の整備、樹木の管理、航空機の騒音対策 など

[属性別のクロス集計]

年齢別にみると、10歳代～50歳代では「公共交通の充実」の割合が最も高く、次いで「商業の活性化」となっている。一方で、60歳代以上では「高齢者や障がい者への配慮」の割合が最も高く、次いで「公共交通の充実」となっている。

地区別にみると、川津場地区、はにわ台住宅団地、西部地区、東部地区では「公共交通の充実」の割合が最も高くなっています。特に、はにわ台住宅団地では50%以上となっています。一方で、小池地区では「商業の活性化」、千代田地区では「医療・福祉環境の充実」、北部地区では「居住環境の向上」と「医療・福祉環境の充実」の割合が最も高くなっています。

年齢別	農業の振興	産業(工業・物流等)の振興	商業の活性化	居住環境の向上	良好な自然環境の保全	公園・緑地の充実	観光・交流の振興	歴史・文化資源の保全・活用	高齢者や障がい者への配慮	自然災害への防災対策の充実	子どもの教育環境の向上	医療・福祉環境の充実	地域コミュニティの活性化	公共交通の充実	道路網の整備・充実	空き家・空き地への対応	その他	無回答
10～50歳代 (n=425)	8.9%	8.7%	35.3%	27.8%	8.9%	11.8%	4.9%	1.2%	19.1%	13.6%	15.3%	30.1%	2.6%	43.5%	28.7%	19.1%	2.4%	2.4%
60歳代以上 (n=663)	21.4%	6.3%	17.3%	21.4%	11.5%	5.1%	2.9%	1.4%	32.6%	17.5%	8.7%	29.6%	6.9%	32.3%	26.2%	21.9%	0.8%	8.6%

地区別	農業の振興	産業(工業・物流等)の振興	商業の活性化	居住環境の向上	良好な自然環境の保全	公園・緑地の充実	観光・交流の振興	歴史・文化資源の保全・活用	高齢者や障がい者への配慮	自然災害への防災対策の充実	子どもの教育環境の向上	医療・福祉環境の充実	地域コミュニティの活性化	公共交通の充実	道路網の整備・充実	空き家・空き地への対応	その他	無回答
小池地区 (n=127)	13.4%	5.5%	44.9%	16.5%	6.3%	10.2%	2.4%	1.6%	16.5%	15.7%	12.6%	33.9%	3.9%	33.9%	23.6%	22.8%	1.6%	7.9%
千代田地区 (n=31)	16.1%	6.5%	12.9%	41.9%	9.7%	6.5%	0.0%	3.2%	38.7%	25.8%	3.2%	45.2%	3.2%	22.6%	12.9%	22.6%	3.2%	3.2%
川津場地区 (n=89)	11.2%	10.1%	21.3%	22.5%	10.1%	5.6%	5.6%	4.5%	32.6%	10.1%	16.9%	31.5%	2.2%	47.2%	24.7%	16.9%	2.2%	3.4%
はにわ台住宅団地 (n=167)	6.6%	2.4%	28.1%	22.2%	4.2%	8.4%	1.2%	0.0%	30.5%	6.0%	12.0%	32.3%	6.0%	53.9%	29.9%	26.3%	0.6%	6.0%
北部地区 (n=148)	22.3%	10.8%	16.9%	26.4%	16.9%	6.8%	3.4%	1.4%	20.9%	23.0%	12.8%	26.4%	6.8%	20.9%	25.7%	20.3%	1.4%	9.5%
西部地区 (n=264)	18.2%	7.2%	22.0%	19.7%	12.9%	9.1%	6.8%	1.1%	29.9%	17.8%	8.7%	29.5%	5.7%	36.4%	26.5%	20.8%	1.9%	4.9%
東部地区 (n=259)	20.5%	8.1%	22.0%	29.7%	11.2%	8.5%	2.7%	0.8%	27.8%	17.8%	10.0%	25.9%	5.4%	34.0%	31.3%	18.9%	0.8%	5.4%

■ 最もも多い回答

■ 2番目に多い回答

■ 3番目に多い回答

※「その他」と「無回答」を除く

3. アンケート調査票

芝山町の拠点づくりに関する住民意向調査 ～アンケートにご協力ください～

住民の皆様へ

日頃より町政の運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

芝山町は古くから農業を基幹産業として発展してきましたが、昭和53年の成田国際空港開港により、騒音被害の発生やそれに伴う居住地移転、農業地帯における住宅団地や工業団地の開発進行など、まちづくりに大きな影響を受けてきました。そのため、町では、住民の生活利便性の維持・向上のため、公共施設や道路・下水道等の都市基盤の整備を進めるとともに、関係機関との協議を図りながら、芝山鉄道の開業やはにわ道の開通など、町の発展に資する暮らしがやすい環境づくりに努めて参りました。

また、近年では、成田空港の更なる機能強化や圏央道の整備という国家的プロジェクトが進行しています。その波及効果を適切に受け止め、町の活力創出につなげていくため、令和元年12月に都市計画の指針となる「芝山町都市計画マスターplan」を策定し、小池地区、千代田地区、川津場地区などを本町の拠点に設定し、移転対象者のための居住地整備や新たにぎわいの創出に向けた土地利用誘導を推進していく方針を位置づけました。

本アンケートは、都市計画マスターplanでの位置づけを踏まえ、町内の拠点づくりをより具体的に推進していくための計画となる「立地適正化計画」を策定するため、住民の皆様の日常生活の状況や拠点づくりに対するご意見・ご提案などを把握し、参考とさせていただくために実施するものです。ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、これから芝山町の新しい拠点づくりを考えていくための大変な調査となりますので、何卒ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和5年9月 麻生 孝之

【ご記入にあたっての注意】

1. 回答用紙は本票を含め各世帯に4枚づつお配りしています。
2. ご回答は、この調査票が配布されたご家庭の16歳以上の方であれば、どの方がお答えいただいても結構です。(※宛名以外の方でも結構です。)
3. この調査の結果については、数字で統計的に処理します。無記名調査ですので個人やご家族の方にご迷惑をかけることはありません。(お名前や住所は必要ありません。)
4. ご記入は、アンケート用紙に直接、鉛筆かボールペンで記入してください。
5. ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にアンケート用紙を入れて、切手を貼らずに 10月23日(月)までに ポストに投函してください。
6. 調査や記入方法についてご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

芝山町企画空港政策課都市計画担当 TEL:0479-77-3909

1 あなた（回答者）ご自身についておたずねします。

問1 あなたご自身のことについておたずねします。下の表の設問について、あてはまる番号をそれぞれ1つ選んでください。その他の場合は内容をご記入ください。

ア) 性別	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
イ) 年齢	1. 10歳代 4. 40歳代 7. 70歳以上	2. 20歳代 5. 50歳代	3. 30歳代 6. 60歳代
ウ) 職種	1. 農業（専業農家） 3. 会社員（勤め人） 5. パート・アルバイト等 7. 学生（専門学校含む） 9. その他（_____）	2. 自営業 4. 公務員・教員（団体職員等） 6. 主婦・主夫 8. 無職（定年退職含む）	
エ) お住まいの地区	1. 小池1 4. 小池4 7. 小池7 10. バルールド 13. 山中西 16. 境・宮崎 19. 大台西 22. 大台南 25. 新井田 28. 牧野西 31. はにわ台南 34. ハニワ台コ-タツ 37. 辺田 40. 住母家 43. 岩山 46. スカイビレッジ 49. 朝倉 52. 浅川・稻葉 55. 山田	2. 小池2 5. 小池5 8. 小池8 11. 芝山 14. 高谷 17. 上吹入 20. 大台北 23. 高田東 26. 新井田新田 29. 宝馬 32. はにわ台北1 35. 菱田東 38. 菱田宿 41. 千代田 44. 川津場 47. 三和 50. 加茂 53. 飯櫃 56. 一本松	3. 小池3 6. 小池6 9. 小池9 12. 山中東 15. 殿部田 18. 下吹入 21. 大台宿 24. 高田西 27. 牧野東 30. はにわ台東 33. はにわ台北2 36. 中郷 39. 中谷津 42. 坂志岡 45. あけぼの 48. 谷平野 51. 白榭 54. 小原子 57. 芝山台

オ) 家族構成	1. ひとり暮らし 3. 親と子（二世代） 5. その他（_____）	2. 夫婦のみ 4. 親と子と孫（三世代）
カ) 町内の在住期間	1. 1年未満 3. 5年以上 10年未満 5. 20年以上 30年未満	2. 1年以上5年未満 4. 10年以上 20年未満 6. 30年以上
キ) 勤務地・通学地や 日常的な活動の場	1. 芝山町内 4. 八街市 7. 横芝光町 10. その他（_____）	2. 成田市 5. 山武市 8. 千葉市 9. 東京都内
ク) 勤務地・通学先や 日常的な活動の場 までの主な移動手段	1. 自家用車（送迎含む） 3. あいあいタクシー 5. バイク・スクーター 7. 自転車 9. その他（_____）	2. バス（シャトルバス、ふれあいバス等） 4. 民間タクシー 6. 電車 8. 徒歩

2 居住意向についておたずねします。

問2 芝山町はあなたにとって住みよいまちですか。あてはまる番号を1つ選んでください。

- | | | |
|-----------------------|-------------------------|--------------|
| 1. 住みよい
4. やや住みにくい | 2. まあまあ住みよい
5. 住みにくい | 3. どちらともいえない |
|-----------------------|-------------------------|--------------|

問3 今後も芝山町に住み続けたいですか。あてはまる番号を1つ選んでください。

- | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|--------------|
| 1. ずっと住み続けたい
4. できれば他へ移りたい | 2. 当分住み続けたい
5. すぐにでも他へ移りたい | 3. どちらともいえない |
|-------------------------------|-------------------------------|--------------|

問4 あなたがこれからも芝山町に住み続けていくために、特に必要だと思うものは何ですか。
あてはまる番号を2つまで選んでください。

- | | |
|--|---|
| 1. 働ける場の確保
3. 空港との共生を活かした将来の発展
5. 買い物等の日常生活の利便性
7. 円滑に移動できる道路網
9. 充実した医療・福祉環境
11. 災害に強い安全・安心な生活環境
13. 豊かな田園・自然環境
15. その他（_____） | 2. 町や地域への愛着
4. 良好的な地域コミュニティ
6. 公共交通（バス・鉄道）の利便性
8. 質の高い子どもの教育環境
10. 充実した公共施設（役場やホール）
12. 多様な役割を担う公園・緑地の拡充
14. 伝統文化や祭りなどの地域資源 |
|--|---|

3 あなたの日常生活・行動についておたずねします。

日用品の買い物について

問5 生鮮食料品や日用雑貨品などの日用品について、主にどこで買い物をされていますか。
あてはまる番号を2つまで選んでください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 役場周辺（道の駅、ヤックスドラック等） | 2. 川津場地区（ベイシア、セイミヤ等） |
| 3. その他の町内 | 4. 成田市 |
| 5. 富里市 | 6. 八街市 |
| 7. 山武市 | 8. 多古町 |
| 9. 横芝光町 | 10. 千葉市 |
| 11. 宅配サービス、インターネット販売 | 12. その他（_____） |

問6 日用品の買い物の際、主に利用する交通手段を1つ選んでください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 自自分で車を運転 | 2. 家族・知人の送迎 |
| 3. バス（シャトルバス、ふれあいバス等） | 4. あいあいタクシー |
| 5. 民間タクシー | 6. バイク・スクーター |
| 7. 電車 | 8. 自転車 |
| 9. 徒歩 | 10. その他（_____） |

日用品以外の買い物について

問7 日用品以外（洋服、家具、電化製品など）について、主にどこで買い物をされていますか。
あてはまる番号を2つまで選んでください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 役場周辺（道の駅、ヤックスドラック等） | 2. 川津場地区（ベイシア、セイミヤ等） |
| 3. その他の町内 | 4. 成田市 |
| 5. 富里市 | 6. 八街市 |
| 7. 山武市 | 8. 多古町 |
| 9. 横芝光町 | 10. 千葉市 |
| 11. 宅配サービス、インターネット販売 | 12. その他（_____） |

問8 日用品以外の買い物の際、主に利用する交通手段を1つ選んでください。

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 自自分で車を運転 | 2. 家族・知人の送迎 |
| 3. バス（シャトルバス、ふれあいバス等） | 4. あいあいタクシー |
| 5. 民間タクシー | 6. バイク・スクーター |
| 7. 電車 | 8. 自転車 |
| 9. 徒歩 | 10. その他（_____） |

利用されている主な医療施設について

問9 カカリつけの医療施設はどこですか。あてはまる番号を1つ選んでください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 高根病院 | 2. 芝山みどりの森クリニック |
| 3. 原田医院 | 4. 成田赤十字病院 |
| 5. 国際医療福祉大学成田病院 | 6. 伊藤医院 |
| 7. 国保多古中央病院 | 8. 成田富里徳洲会病院 |
| 9. 在宅・訪問診療 | 10. 特ない |
| 11. その他 (_____) | |

問10 医療施設へ向かう際、主に利用する交通手段を1つ選んでください。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 1. 自自分で車を運転 | 2. 家族・知人の送迎 |
| 3. バス（シャトルバス、ふれあいバス等） | 4. あいあいタクシー |
| 5. 民間タクシー | 6. バイク・スクーター |
| 7. 電車 | 8. 自転車 |
| 9. 徒歩 | 10. その他 (_____) |

4 これからのまちの拠点のあり方についておたずねします。

問11 町では、新しいまちづくりを進めていくうえで、以下の4つの地区を芝山町の拠点となる主要な市街地・居住地として位置づけています。

- 小池地区(町役場周辺の市街地)
- 千代田地区(芝山千代田駅周辺の市街地)
- 川津場地区(県道八街三里塚線の沿道)
- はにわ台住宅団地

芝山町が将来にわたって住み続けられる、生活利便性の高い活力あふれる都市へと発展していくためには、それぞれの拠点にどういった都市機能(施設)を整備・誘導していくべきだと思いますか。あてはまる番号を地区ごとに2つまで選んでください。

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 商業機能 (スーパー、飲食店、銀行など) | 2. 工業・物流機能 (工場、倉庫など) |
| 3. 居住機能 (戸建住宅、共同住宅など) | 4. 医療機能 (病院、クリニックなど) |
| 5. 子育て機能 (幼稚園、保育所など) | 6. 福祉機能 (介護福祉サービスなど) |
| 7. 行政機能 (役場、出張所など) | 8. コミュニティ機能 (公民館など) |
| 9. 教育機能 (小中学校など) | 10. 公園・緑地や広場 |
| 11. 文化機能 (博物館など) | 12. 観光機能 (道の駅など) |
| 13. 交通拠点機能 (バスターミナルなど) | 14. その他 (_____) |

小池地区

--	--

千代田地区

--	--

川津場地区

--	--

はにわ台住宅団地

--	--

5 防災まちづくりについておたずねします。

問12 現在お住まいの地域の防災対策について、これから特に必要だと思う取組みは何ですか。あてはまる番号を2つまで選んでください。

1. 避難所や避難路など災害に対応できる施設の整備
2. 建物などの耐震化の促進
3. かけ崩れなどの土砂災害を防ぐ施設の整備
4. 市街地での道路冠水を防ぐ側溝や排水路などの整備
5. 河川の氾濫を防ぐ堤防や排水施設などの整備
6. 公園などの防災機能の向上
7. 防災訓練や防災組織など地域防災活動の充実
8. 一人ひとりの防災に対する意識の醸成
9. 特に問題はない
10. その他 (_____)

問13 芝山町では風水害や土砂災害などの防災ハザードマップを公開していますが、内容を確認したことはありますか。あてはまる番号を1つ選んでください。

1. 確認しており、自宅周辺の災害リスクを理解している
2. 確認したことはあるが、内容をあまり覚えていない
3. 確認したことはあるが、内容を理解できなかった
4. あることは知っているが、見たことがない
5. あることを知らない



こちらのQRコードから
「芝山町Web版防災ハザ
ードマップ」を確認するこ
とができます。

問14 これからの芝山町において、災害の危険性がある地域での住宅立地について、どのように対応していくべきだと思いますか。「新たに建てる住宅」と「既存の住宅」ごとに、あてはまる番号をそれぞれ1つ選んでください。

1. 建築を規制する、もしくは移転させるべき
2. 防災対策を実施するなど一定の安全性が見込める場合は認めるべき
3. どこに住むかは住民の自由なので行政が規制すべきではない
4. わからない

新たに建てる住宅

既存の住宅

6 現在お住まいになっている地区の状況についておたずねします。

問15 現在お住まいの地区の生活環境についてどのように感じていますか。次の項目(満足度・充実希望度)ごとに、あてはまる番号をそれぞれ1つずつ選んで○をしてください。

現在お住まいの地区の状況 についてご回答ください。		満 足 度					充実希望度				
		満足している	一応満足している	どちらでもない	やや不満である	不満である	充実を希望する	やや希望する	どちらでもない	あまり希望しない	充実を希望しない
例)該当する番号を○で囲んでください。		1	②	3	4	5	①	2	3	4	5
利便性	ア. 通勤・通学の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	イ. 自動車の利用しやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	ウ. バスの運行本数・運行時間	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	エ. バスのルート	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	オ. 買い物の便利さ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	カ. 役場など行政窓口の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
都市基盤	キ. 病院など医療・福祉施設の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	ク. 広場や公園などの遊び場	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	ケ. 生活道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	コ. 雨水処理の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	サ. 下水道(汚水)の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	シ. 学校など教育施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
快適性・魅力	ス. 図書館など文化施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	セ. 運動・スポーツ施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	ソ. 営農環境の保全・管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	タ. 自然環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	チ. 自然的景観の美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	ツ. 街並み景観の美しさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
安全性	テ. 歴史・文化資源の保全・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	ト. 宅地の広さやゆとり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	ナ. 騒音、悪臭などへの対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	二. 交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
安心性	ヌ. 自然災害に対する防災対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	ネ. まちの防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	ノ. 空き家などの管理及び抑制対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問16 あなたがお住まいの地区で生活していくうえで、地区周辺に特に必要だと思う施設や機能は何ですか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. コンビニエンスストア | 2. スーパー・薬局などの小売店舗 |
| 3. 大規模な商業施設 | 4. 飲食店（レストラン、居酒屋など） |
| 5. 金融機関（銀行や郵便局など） | 6. 宿泊施設（旅館・ホテルなど） |
| 7. 医療施設（病院や診療所など） | 8. 子育て支援施設（幼稚園、保育所など） |
| 9. 福祉施設（介護福祉サービスなど） | 10. 行政施設（役場、出張所など） |
| 11. コミュニティ施設（公民館など） | 12. 娯楽施設（映画館、カラオケなど） |
| 13. 教育施設（小中学校など） | 14. 公園・緑地や広場 |
| 15. 文化施設（博物館など） | 16. 観光施設（道の駅など） |
| 17. 交通拠点機能（バスターミナルなど） | 18. 駐車場や駐輪場 |
| 19. 防災機能（避難所・避難場所など） | 20. その他（_____） |

問17 あなたがお住まいの地区において、これから最も力を入れて取り組むべきまちづくり方策は何だと思いますか。あてはまる番号を3つまで選んでください。

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 農業の振興 | 2. 産業（工業・物流等）の振興 |
| 3. 商業の活性化 | 4. 居住環境の向上 |
| 5. 良好的な自然環境の保全 | 6. 公園・緑地の充実 |
| 7. 観光・交流の振興 | 8. 歴史・文化資源の保全・活用 |
| 9. 高齢者や障がい者への配慮 | 10. 自然災害への防災対策の充実 |
| 11. 子どもの教育環境の向上 | 12. 医療・福祉環境の充実 |
| 13. 地域コミュニティの活性化 | 14. 公共交通の充実 |
| 15. 道路網の整備・充実 | 16. 空き家・空き地への対応 |
| 17. その他（_____） | |

7 これからのまちづくりに向けたアイデア

問18 芝山町が将来にわたって暮らしやすく、魅力的なまちであるために、あなたが必要だと思う方策やアイデアなどがありましたらご自由にご提案ください。

ご協力ありがとうございました